

2026.04
一宮小学校中舎・北舎外壁改修工事 特記仕様書
I 工事概要
1. 工事場所 高知市一宮西町1丁目9番1号
2. 工事種目 【中舎】 鉄筋コンクリート造 3階建て 延べ面積 2,594.66㎡
【北舎】 鉄筋コンクリート造 2階建て 延べ面積 1,114.67㎡
外壁改修 一式
3. 関連工事等
4. 概成工期
5. 部分使用(工事請負契約書第34条第1項)
II 建築工事仕様
1. 特記仕様
2. 適用基準等
3. 「週休2日制工事」の実施について
4. 「猛暑による作業不能日数」の実施について

項目 特記事項
10 工事安全計画書
11 統括安全衛生管理義務者の指名
12 発生材の処理
13 再生資源利用(促進)計画書及び実施書の提出
14 工事の保険
15 契約保証
16 前払金支出割合区分補正
17 証明書の提出(グリーン購入法)
18 石綿含有建材の調査

項目 特記事項
19 施工数量調査
20 技能士及び技能資格者
21 化学物質の室内濃度の測定
22 直接仮設の養生
23 建築材料等
24 特別な材料の工法
25 風圧力
26 仕上面の出隅処理

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																																									
27 事業損失補償	※現場説明書による。	5 監督職員の備品等	備品等の設置 [2.4.1] <table border="1"> <tr><td>備品の種類</td><td>机・椅子</td><td>書棚</td><td>黒板</td><td>P C</td><td>掛時計</td></tr> <tr><td>数量</td><td>組</td><td>台</td><td>枚</td><td>台</td><td>個</td></tr> <tr><td>備品の種類</td><td>温度計</td><td>ゴム足靴</td><td>雨がっぱ</td><td>保護帽</td><td>懐中電灯</td></tr> <tr><td>数量</td><td>個</td><td>足</td><td>着</td><td>個</td><td>個</td></tr> <tr><td>備品の種類</td><td>衣類ロッカー</td><td>冷暖房機器</td><td>消火器</td><td>湯沸器</td><td>加入電話付属器</td></tr> <tr><td>数量</td><td>人用</td><td>台</td><td>個</td><td>台</td><td>台</td></tr> <tr><td>備品の種類</td><td>掃除具</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>数量</td><td>個</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	備品の種類	机・椅子	書棚	黒板	P C	掛時計	数量	組	台	枚	台	個	備品の種類	温度計	ゴム足靴	雨がっぱ	保護帽	懐中電灯	数量	個	足	着	個	個	備品の種類	衣類ロッカー	冷暖房機器	消火器	湯沸器	加入電話付属器	数量	人用	台	個	台	台	備品の種類	掃除具					数量	個					⑤ シーリング	シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.4~3.7.7][表3.1.2] ・シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 ・拡張シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ・ボンドブレイカー張り ・エッジング材張り ・適用する ・適用する [3.7.7]																																																									
備品の種類	机・椅子	書棚	黒板	P C	掛時計																																																																																																									
数量	組	台	枚	台	個																																																																																																									
備品の種類	温度計	ゴム足靴	雨がっぱ	保護帽	懐中電灯																																																																																																									
数量	個	足	着	個	個																																																																																																									
備品の種類	衣類ロッカー	冷暖房機器	消火器	湯沸器	加入電話付属器																																																																																																									
数量	人用	台	個	台	台																																																																																																									
備品の種類	掃除具																																																																																																													
数量	個																																																																																																													
29 完成写真	※現場説明書による。 下表のものを監督職員に提出する。 <table border="1"> <tr><th>位置</th><th>分類・規格</th><th>撮影枚数</th><th>部数</th><th>原画の大きさ(mm)</th></tr> <tr><td>・各室</td><td>手札版(L版)</td><td>※2枚・枚</td><td>※1部・部</td><td>・100×125以上</td></tr> <tr><td>・外部</td><td>キャビネ版</td><td>※4枚・枚</td><td>※1部・部</td><td>・24×36以上</td></tr> <tr><td>・外部</td><td>半切パネル(・木製枠※アルミ枠)</td><td>※1枚・枚</td><td>※1部・部</td><td></td></tr> <tr><td>・</td><td>スライド</td><td>※1部・部</td><td></td><td></td></tr> </table> カラー・電子データ化(CD-R等)し、すべて提出する。 撮影箇所は監督職員と協議する。 上表のほか、監督職員指示の箇所をデジタルカメラにて撮影し、CD-R等にて提出する。 画像形式等 フォーマット: JPEG 画質: 標準 画像サイズ: 1024×768ピクセル程度	位置	分類・規格	撮影枚数	部数	原画の大きさ(mm)	・各室	手札版(L版)	※2枚・枚	※1部・部	・100×125以上	・外部	キャビネ版	※4枚・枚	※1部・部	・24×36以上	・外部	半切パネル(・木製枠※アルミ枠)	※1枚・枚	※1部・部		・	スライド	※1部・部			⑥ 工事用水・電力	構内既存の施設(用水) ①利用できる (※有償・無償) ※利用できない 構内既存の施設(電力) ②利用できる (※有償・無償) ※利用できない 構内既存の施設を利用できる場合で、無償の場合は、下記a)~c)による。 a) 既存設備の水栓等から直接水を使用する場合は、監督職員と協議する。 b) 既存のコンセントから直接電力を使用する場合は、監督職員と協議する。 c) 工事用電源を既存建築物から分岐する場合は、原則、既設分電盤の共用回路のコンセントからとする。なお、接続する回路の負荷状態等を確認し、既設負荷への波及がないようにする。 また、漏電遮断器付コンセント等を使用し、安全の確保を図る。 構内既存の施設を利用できる場合で、有償の場合は、上記a)~c)に下記d)~e)を加える。 d) 工事用水は、既存設備に量水器を設けて、仮設配管を施工使用するものとする。 e) 工事用電力は、原則、既存設備に電力計を設けて、仮設配電盤を設置し、使用するものとする。 四国電力送電網などの架空線に防護管の設置が必要な場合は、監督職員と協議する。 ※ 図示	⑦ とい	シーリング材の種類、施工箇所 [3.1.4][3.7.2][表3.7.1] ※下表による(下表以外は表3.7.1による) <table border="1"> <tr><th>種類(記号)</th><th>主成分による区分</th><th>施工箇所</th></tr> <tr><td>・SR-1</td><td>シリコーン系</td><td></td></tr> <tr><td>・SR-2</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・OMS-2</td><td>変成シリコーン系</td><td>建具廻り</td></tr> <tr><td>・PS-2</td><td>ポリサルファイド系</td><td>タイル伸縮目地</td></tr> <tr><td>・PU-2</td><td>ポリウレタン系</td><td>上記以外</td></tr> </table> 仕上げを行わない箇所 ( ) [表3.7.1] シーリング材の目地寸法 [3.7.3] <table border="1"> <tr><th>箇所</th><th>打継ぎ/ひび割れ誘発目地</th><th>ガラス回りの目地</th><th>左記以外の目地</th></tr> <tr><td>幅(mm)</td><td>※20以上</td><td>※幅及び深さ5以上[5.13</td><td>※10以上</td></tr> <tr><td>深さ(mm)</td><td>※10以上</td><td>.3]による場合を除く)</td><td>※10以上</td></tr> </table> 接着性試験 [3.7.8] ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験	種類(記号)	主成分による区分	施工箇所	・SR-1	シリコーン系		・SR-2			・OMS-2	変成シリコーン系	建具廻り	・PS-2	ポリサルファイド系	タイル伸縮目地	・PU-2	ポリウレタン系	上記以外	箇所	打継ぎ/ひび割れ誘発目地	ガラス回りの目地	左記以外の目地	幅(mm)	※20以上	※幅及び深さ5以上[5.13	※10以上	深さ(mm)	※10以上	.3]による場合を除く)	※10以上																																																		
位置	分類・規格	撮影枚数	部数	原画の大きさ(mm)																																																																																																										
・各室	手札版(L版)	※2枚・枚	※1部・部	・100×125以上																																																																																																										
・外部	キャビネ版	※4枚・枚	※1部・部	・24×36以上																																																																																																										
・外部	半切パネル(・木製枠※アルミ枠)	※1枚・枚	※1部・部																																																																																																											
・	スライド	※1部・部																																																																																																												
種類(記号)	主成分による区分	施工箇所																																																																																																												
・SR-1	シリコーン系																																																																																																													
・SR-2																																																																																																														
・OMS-2	変成シリコーン系	建具廻り																																																																																																												
・PS-2	ポリサルファイド系	タイル伸縮目地																																																																																																												
・PU-2	ポリウレタン系	上記以外																																																																																																												
箇所	打継ぎ/ひび割れ誘発目地	ガラス回りの目地	左記以外の目地																																																																																																											
幅(mm)	※20以上	※幅及び深さ5以上[5.13	※10以上																																																																																																											
深さ(mm)	※10以上	.3]による場合を除く)	※10以上																																																																																																											
30 別途設備工事との取合い	施工範囲 ・貫通孔、開口部の補強 ※ 図示 ・壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 ※ 図示 ・駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ ※ 図示 ・自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強	⑦ 仮囲い	※ 図示	7 保証書 (シーリング除く)	受注者、施工者、材料製造所連名による 10年保証(完成届提出日より15日後から)																																																																																																									
31 撤去部分	コンクリート、モルタル等の撤去部分の境目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。	⑧ 仮設物撤去後の整地・跡片付け	※ 図示 ・ 良土にて設計地盤まで盛土整地する。 範囲(図示) 厚さ( ) [2.5.1]	8 高日射反射率塗料塗り	JIS K 5675 (屋根用高日射反射率塗料) に適合するもの、または、グリーン購入法の高日射反射率防水に適合する保護塗料とする。																																																																																																									
32 不当要求等への対応	暴力団又は暴力団関係者からの不当要求又は工事妨害(以下この文において「不当介入」という。)の排除については次による。 a) 受注者は、暴力団又は暴力団関係者からの工事の施工に関して不当介入を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 b) 受注者は、不当介入による被害を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 c) 受注者は、監督職員及び所轄警察署と協力して、不当介入の排除処理を講じなければならない。 d) 受注者は、不当介入の報告を怠った場合は、「高知市競争入札指名停止措置要綱」に基づき、指名停止措置を行うものとする。	防水改修工事	① 降雨等に対する養生方法 [3.1.3] ② 既存下地の処理 [3.2.6] 既存下地の補修箇所、範囲、数量等 ※ 図示 設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部、防水層末端部等の納まり部の処理 ※ 図示(図示のない場合は監督職員と協議による) ・ 製造所の仕様による [3.5.2][表3.5.1~表3.5.2]	外壁改修工事(共通事項)	① 材料品質 [4.2.4] 可とう性エポキシ樹脂 JIS A 6024による。 <table border="1"> <tr><th>比重</th><th>押出し性(秒)</th><th>スランプ(Mm)</th><th>質量変化率(%)</th><th>引張り強さ(MPa)</th><th>破断時伸び(%)</th><th>引張り接着性</th></tr> <tr><td>表示値±0.10</td><td>60以下</td><td>3.0以下</td><td>5.0以下</td><td>標準 1.0以上</td><td>標準 30.0以上</td><td>最大引張強さ 1.0MPa以上 破断時の伸び 10.0%以上</td></tr> </table> 1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3) 常温常温(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後も品質・性能が上記の各項目に適合していること。	比重	押出し性(秒)	スランプ(Mm)	質量変化率(%)	引張り強さ(MPa)	破断時伸び(%)	引張り接着性	表示値±0.10	60以下	3.0以下	5.0以下	標準 1.0以上	標準 30.0以上	最大引張強さ 1.0MPa以上 破断時の伸び 10.0%以上																																																																																											
比重	押出し性(秒)	スランプ(Mm)	質量変化率(%)	引張り強さ(MPa)	破断時伸び(%)	引張り接着性																																																																																																								
表示値±0.10	60以下	3.0以下	5.0以下	標準 1.0以上	標準 30.0以上	最大引張強さ 1.0MPa以上 破断時の伸び 10.0%以上																																																																																																								
33 消防計画	工事の着手にあたり、火災等の災害の予防や、使用部分と工事中の部分の安全を確保するため、別契約の関連工事業者と協議の上、「工事中の消防計画書」を作成し、当該施設の防火管理者の承諾を得て届出を行う。	3 合成高分子系ルーフィングシート防水	断熱工法に用いる断熱材(SI-F1、SI-F2、SI-M1、SI-M2の場合) [3.5.2] <table border="1"> <tr><th>工法</th><th>種類</th><th>施工箇所</th><th>厚さ(mm)</th><th>種類</th><th>使用量</th><th>高日射反射率塗料の適用</th><th>備考</th></tr> <tr><td rowspan="2">・POS ・S4S</td><td>・S-F1</td><td></td><td>※1.2</td><td>※製造所の仕様による</td><td></td><td></td><td>改修用ドレ ・設ける</td></tr> <tr><td>・S-F2</td><td></td><td>※2.0 ・1.5</td><td></td><td></td><td></td><td>・設けない</td></tr> <tr><td rowspan="2">・S3S</td><td>・S-F1</td><td></td><td>※1.2</td><td>※製造所の仕様による</td><td></td><td></td><td>改修用ドレ ・設ける</td></tr> <tr><td>・S-F2</td><td></td><td>※2.0 ・1.5</td><td></td><td></td><td></td><td>・設けない</td></tr> <tr><td rowspan="2">・M4S</td><td>・S-M1</td><td></td><td>※1.5</td><td>※製造所の仕様による</td><td></td><td></td><td>改修用ドレ ・設ける</td></tr> <tr><td>・S-M2</td><td></td><td>※1.5</td><td></td><td></td><td></td><td>・設けない</td></tr> <tr><td rowspan="2">・POS I ・S3S I ・S4S I</td><td>・SI-F1</td><td></td><td>※1.2</td><td>※製造所の仕様による</td><td></td><td></td><td>改修用ドレ ・設ける</td></tr> <tr><td>・SI-F2</td><td></td><td>※2.0 ・1.5</td><td></td><td></td><td></td><td>・設けない</td></tr> <tr><td rowspan="2">・M4S I</td><td>・SI-M1</td><td></td><td>※1.5</td><td>※製造所の仕様による</td><td></td><td></td><td>・設ける</td></tr> <tr><td>・SI-M2</td><td></td><td>※1.5</td><td></td><td></td><td></td><td>・設けない</td></tr> <tr><td>・P1S</td><td>・S-C1</td><td></td><td>※1.0</td><td></td><td></td><td></td><td>立上り保護 モルタルの塗厚 ・図示 ・7mm</td></tr> </table>	工法	種類	施工箇所	厚さ(mm)	種類	使用量	高日射反射率塗料の適用	備考	・POS ・S4S	・S-F1		※1.2	※製造所の仕様による			改修用ドレ ・設ける	・S-F2		※2.0 ・1.5				・設けない	・S3S	・S-F1		※1.2	※製造所の仕様による			改修用ドレ ・設ける	・S-F2		※2.0 ・1.5				・設けない	・M4S	・S-M1		※1.5	※製造所の仕様による			改修用ドレ ・設ける	・S-M2		※1.5				・設けない	・POS I ・S3S I ・S4S I	・SI-F1		※1.2	※製造所の仕様による			改修用ドレ ・設ける	・SI-F2		※2.0 ・1.5				・設けない	・M4S I	・SI-M1		※1.5	※製造所の仕様による			・設ける	・SI-M2		※1.5				・設けない	・P1S	・S-C1		※1.0				立上り保護 モルタルの塗厚 ・図示 ・7mm	1 保証書 (シーリング除く)	① 材料品質 [4.2.4] 可とう性エポキシ樹脂 JIS A 6024による。 <table border="1"> <tr><th>比重</th><th>押出し性(秒)</th><th>スランプ(Mm)</th><th>質量変化率(%)</th><th>引張り強さ(MPa)</th><th>破断時伸び(%)</th><th>引張り接着性</th></tr> <tr><td>表示値±0.10</td><td>60以下</td><td>3.0以下</td><td>5.0以下</td><td>標準 1.0以上</td><td>標準 30.0以上</td><td>最大引張強さ 1.0MPa以上 破断時の伸び 10.0%以上</td></tr> </table> 1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3) 常温常温(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後も品質・性能が上記の各項目に適合していること。	比重	押出し性(秒)	スランプ(Mm)	質量変化率(%)	引張り強さ(MPa)	破断時伸び(%)	引張り接着性	表示値±0.10	60以下	3.0以下	5.0以下	標準 1.0以上	標準 30.0以上	最大引張強さ 1.0MPa以上 破断時の伸び 10.0%以上
工法	種類	施工箇所	厚さ(mm)	種類	使用量	高日射反射率塗料の適用	備考																																																																																																							
・POS ・S4S	・S-F1		※1.2	※製造所の仕様による			改修用ドレ ・設ける																																																																																																							
	・S-F2		※2.0 ・1.5				・設けない																																																																																																							
・S3S	・S-F1		※1.2	※製造所の仕様による			改修用ドレ ・設ける																																																																																																							
	・S-F2		※2.0 ・1.5				・設けない																																																																																																							
・M4S	・S-M1		※1.5	※製造所の仕様による			改修用ドレ ・設ける																																																																																																							
	・S-M2		※1.5				・設けない																																																																																																							
・POS I ・S3S I ・S4S I	・SI-F1		※1.2	※製造所の仕様による			改修用ドレ ・設ける																																																																																																							
	・SI-F2		※2.0 ・1.5				・設けない																																																																																																							
・M4S I	・SI-M1		※1.5	※製造所の仕様による			・設ける																																																																																																							
	・SI-M2		※1.5				・設けない																																																																																																							
・P1S	・S-C1		※1.0				立上り保護 モルタルの塗厚 ・図示 ・7mm																																																																																																							
比重	押出し性(秒)	スランプ(Mm)	質量変化率(%)	引張り強さ(MPa)	破断時伸び(%)	引張り接着性																																																																																																								
表示値±0.10	60以下	3.0以下	5.0以下	標準 1.0以上	標準 30.0以上	最大引張強さ 1.0MPa以上 破断時の伸び 10.0%以上																																																																																																								
34 工事特性等	受注者は、自ら立案した工事特性、創意工夫、社会性等のそれぞれの評価項目について、実施しようとする場合は、事前に計画内容を所定の様式で監督職員に提出する。 また、実施後、工事完成時までに所定の様式に実施状況の分かる図面や状況写真等を添付して監督職員に提出する。	4 塗膜防水	断熱工法に用いる断熱材(SI-F1、SI-F2、SI-M1、SI-M2の場合) [3.5.2] <table border="1"> <tr><th>工法</th><th>種類</th><th>施工箇所</th><th>厚さ(mm)</th><th>種類</th><th>使用量</th><th>高日射反射率塗料の適用</th><th>備考</th></tr> <tr><td rowspan="2">・POS ・L4X</td><td>・X-1</td><td></td><td>※2成分形アクリル樹脂系</td><td>※製造所の仕様による</td><td></td><td></td><td>改修用ドレ ・設ける</td></tr> <tr><td>・X-1H</td><td></td><td>※X-2</td><td></td><td></td><td></td><td>・設けない</td></tr> <tr><td rowspan="2">・L4X</td><td>・X-1H</td><td></td><td>※X-2</td><td></td><td></td><td></td><td>・設けない</td></tr> <tr><td>・X-2H</td><td></td><td>※X-2</td><td></td><td></td><td></td><td>・設けない</td></tr> </table>	工法	種類	施工箇所	厚さ(mm)	種類	使用量	高日射反射率塗料の適用	備考	・POS ・L4X	・X-1		※2成分形アクリル樹脂系	※製造所の仕様による			改修用ドレ ・設ける	・X-1H		※X-2				・設けない	・L4X	・X-1H		※X-2				・設けない	・X-2H		※X-2				・設けない	2 保証書 (シーリング除く)	① 材料品質 [4.2.4] 可とう性エポキシ樹脂 JIS A 6024による。 <table border="1"> <tr><th>比重</th><th>押出し性(秒)</th><th>スランプ(Mm)</th><th>質量変化率(%)</th><th>引張り強さ(MPa)</th><th>破断時伸び(%)</th><th>引張り接着性</th></tr> <tr><td>表示値±0.10</td><td>60以下</td><td>3.0以下</td><td>5.0以下</td><td>標準 1.0以上</td><td>標準 30.0以上</td><td>最大引張強さ 1.0MPa以上 破断時の伸び 10.0%以上</td></tr> </table> 1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3) 常温常温(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後も品質・性能が上記の各項目に適合していること。	比重	押出し性(秒)	スランプ(Mm)	質量変化率(%)	引張り強さ(MPa)	破断時伸び(%)	引張り接着性	表示値±0.10	60以下	3.0以下	5.0以下	標準 1.0以上	標準 30.0以上	最大引張強さ 1.0MPa以上 破断時の伸び 10.0%以上																																																					
工法	種類	施工箇所	厚さ(mm)	種類	使用量	高日射反射率塗料の適用	備考																																																																																																							
・POS ・L4X	・X-1		※2成分形アクリル樹脂系	※製造所の仕様による			改修用ドレ ・設ける																																																																																																							
	・X-1H		※X-2				・設けない																																																																																																							
・L4X	・X-1H		※X-2				・設けない																																																																																																							
	・X-2H		※X-2				・設けない																																																																																																							
比重	押出し性(秒)	スランプ(Mm)	質量変化率(%)	引張り強さ(MPa)	破断時伸び(%)	引張り接着性																																																																																																								
表示値±0.10	60以下	3.0以下	5.0以下	標準 1.0以上	標準 30.0以上	最大引張強さ 1.0MPa以上 破断時の伸び 10.0%以上																																																																																																								
仮設工事(改修)	内部足場 ※ きゃたつ、足場板等 [2.1.3][2.2.1][表2.2.1] 外部足場 ※ 本足場 外部足場の養生 ※ 図示 ・防護シート ・メッシュシート ・防音シート ・防音パネル 材料、撤去材の運搬方法 ・A種 ※ B種 ・C種 ※ D種 ・E種 C種の場合 利用可能なエレベーター(※図示) D種の場合 利用可能な階段(※図示) ・ 屋上防水作業の端部には、墜落防止手摺等墜落の危険を防止する措置を講ずる。 本足場を設ける場合は、公共建築改修工事標準仕様書2.2.1(2)によるほか、足場の組立、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。 ① 高さ1.8m以下の範囲は金網とし、関係者以外が進入できないように施錠すること。	5 養生	養生 [2.3.1] ① 既存部分の養生 ※ ビニルシート、合板等 ② 既存家具、既存設備等の養生 ※ ビニルシート等 ③ 既存ブラインド、カーテン等の養生、保管場所 ※ 図示 ④ 固定された備品等の移動 ※ 図示 ⑤ 開口部養生 窓等の破損の危険がある工事を行う場合は、施工を行う周辺及びその下部の窓等には、室内に破損物等が飛散しない様、堅固な養生を行う。	3 仮設間仕切り(屋内)	設置箇所 ※ 図示 間仕切り種別 ※ A種 ※ B種 ※ C種 A種、B種の場合 仕上げの材種 ※セッコウボード 厚さ9.5mm 合板(普通合板) 厚さ9.0mm 塗装仕上げ等 ※ 行う ※ 行わない 仮設原設置箇所 ※ 図示 仮設原種別 ※ 合板張り木製原程度 ※ 図示																																																																																																									
4 監督職員事務所	・設ける (㎡程度) ※設けない	6 工事用水・電力	構内既存の施設(用水) ①利用できる (※有償・無償) ※利用できない 構内既存の施設(電力) ②利用できる (※有償・無償) ※利用できない	7 保証書 (シーリング除く)	① 材料品質 [4.2.4] 可とう性エポキシ樹脂 JIS A 6024による。 <table border="1"> <tr><th>比重</th><th>押出し性(秒)</th><th>スランプ(Mm)</th><th>質量変化率(%)</th><th>引張り強さ(MPa)</th><th>破断時伸び(%)</th><th>引張り接着性</th></tr> <tr><td>表示値±0.10</td><td>60以下</td><td>3.0以下</td><td>5.0以下</td><td>標準 1.0以上</td><td>標準 30.0以上</td><td>最大引張強さ 1.0MPa以上 破断時の伸び 10.0%以上</td></tr> </table> 1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3) 常温常温(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後も品質・性能が上記の各項目に適合していること。	比重	押出し性(秒)	スランプ(Mm)	質量変化率(%)	引張り強さ(MPa)	破断時伸び(%)	引張り接着性	表示値±0.10	60以下	3.0以下	5.0以下	標準 1.0以上	標準 30.0以上	最大引張強さ 1.0MPa以上 破断時の伸び 10.0%以上																																																																																											
比重	押出し性(秒)	スランプ(Mm)	質量変化率(%)	引張り強さ(MPa)	破断時伸び(%)	引張り接着性																																																																																																								
表示値±0.10	60以下	3.0以下	5.0以下	標準 1.0以上	標準 30.0以上	最大引張強さ 1.0MPa以上 破断時の伸び 10.0%以上																																																																																																								
		7 保証書 (シーリング除く)	高日射反射率塗料塗り [3.5.2][表3.5.1~表3.5.2]	8 高日射反射率塗料塗り	JIS K 5675 (屋根用高日射反射率塗料) に適合するもの、または、グリーン購入法の高日射反射率防水に適合する保護塗料とする。																																																																																																									
		8 高日射反射率塗料塗り	断熱工法に用いる断熱材(SI-F1、SI-F2、SI-M1、SI-M2の場合) [3.5.2] <table border="1"> <tr><th>工法</th><th>種類</th><th>施工箇所</th><th>厚さ(mm)</th><th>種類</th><th>使用量</th><th>高日射反射率塗料の適用</th><th>備考</th></tr> <tr><td rowspan="2">・POS ・S4S</td><td>・S-F1</td><td></td><td>※1.2</td><td>※製造所の仕様による</td><td></td><td></td><td>改修用ドレ ・設ける</td></tr> <tr><td>・S-F2</td><td></td><td>※2.0 ・1.5</td><td></td><td></td><td></td><td>・設けない</td></tr> <tr><td rowspan="2">・S3S</td><td>・S-F1</td><td></td><td>※1.2</td><td>※製造所の仕様による</td><td></td><td></td><td>改修用ドレ ・設ける</td></tr> <tr><td>・S-F2</td><td></td><td>※2.0 ・1.5</td><td></td><td></td><td></td><td>・設けない</td></tr> <tr><td rowspan="2">・M4S</td><td>・S-M1</td><td></td><td>※1.5</td><td>※製造所の仕様による</td><td></td><td></td><td>改修用ドレ ・設ける</td></tr> <tr><td>・S-M2</td><td></td><td>※1.5</td><td></td><td></td><td></td><td>・設けない</td></tr> <tr><td rowspan="2">・POS I ・S3S I ・S4S I</td><td>・SI-F1</td><td></td><td>※1.2</td><td>※製造所の仕様による</td><td></td><td></td><td>改修用ドレ ・設ける</td></tr> <tr><td>・SI-F2</td><td></td><td>※2.0 ・1.5</td><td></td><td></td><td></td><td>・設けない</td></tr> <tr><td rowspan="2">・M4S I</td><td>・SI-M1</td><td></td><td>※1.5</td><td>※製造所の仕様による</td><td></td><td></td><td>・設ける</td></tr> <tr><td>・SI-M2</td><td></td><td>※1.5</td><td></td><td></td><td></td><td>・設けない</td></tr> <tr><td>・P1S</td><td>・S-C1</td><td></td><td>※1.0</td><td></td><td></td><td></td><td>立上り保護 モルタルの塗厚 ・図示 ・7mm</td></tr> </table>	工法	種類	施工箇所	厚さ(mm)	種類	使用量	高日射反射率塗料の適用	備考	・POS ・S4S	・S-F1		※1.2	※製造所の仕様による			改修用ドレ ・設ける	・S-F2		※2.0 ・1.5				・設けない	・S3S	・S-F1		※1.2	※製造所の仕様による			改修用ドレ ・設ける	・S-F2		※2.0 ・1.5				・設けない	・M4S	・S-M1		※1.5	※製造所の仕様による			改修用ドレ ・設ける	・S-M2		※1.5				・設けない	・POS I ・S3S I ・S4S I	・SI-F1		※1.2	※製造所の仕様による			改修用ドレ ・設ける	・SI-F2		※2.0 ・1.5				・設けない	・M4S I	・SI-M1		※1.5	※製造所の仕様による			・設ける	・SI-M2		※1.5				・設けない	・P1S	・S-C1		※1.0				立上り保護 モルタルの塗厚 ・図示 ・7mm	外壁改修工事(共通事項)	① 材料品質 [4.2.4] 可とう性エポキシ樹脂 JIS A 6024による。 <table border="1"> <tr><th>比重</th><th>押出し性(秒)</th><th>スランプ(Mm)</th><th>質量変化率(%)</th><th>引張り強さ(MPa)</th><th>破断時伸び(%)</th><th>引張り接着性</th></tr> <tr><td>表示値±0.10</td><td>60以下</td><td>3.0以下</td><td>5.0以下</td><td>標準 1.0以上</td><td>標準 30.0以上</td><td>最大引張強さ 1.0MPa以上 破断時の伸び 10.0%以上</td></tr> </table> 1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3) 常温常温(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後も品質・性能が上記の各項目に適合していること。	比重	押出し性(秒)	スランプ(Mm)	質量変化率(%)	引張り強さ(MPa)	破断時伸び(%)	引張り接着性	表示値±0.10	60以下	3.0以下	5.0以下	標準 1.0以上	標準 30.0以上	最大引張強さ 1.0MPa以上 破断時の伸び 10.0%以上
工法	種類	施工箇所	厚さ(mm)	種類	使用量	高日射反射率塗料の適用	備考																																																																																																							
・POS ・S4S	・S-F1		※1.2	※製造所の仕様による			改修用ドレ ・設ける																																																																																																							
	・S-F2		※2.0 ・1.5				・設けない																																																																																																							
・S3S	・S-F1		※1.2	※製造所の仕様による			改修用ドレ ・設ける																																																																																																							
	・S-F2		※2.0 ・1.5				・設けない																																																																																																							
・M4S	・S-M1		※1.5	※製造所の仕様による			改修用ドレ ・設ける																																																																																																							
	・S-M2		※1.5				・設けない																																																																																																							
・POS I ・S3S I ・S4S I	・SI-F1		※1.2	※製造所の仕様による			改修用ドレ ・設ける																																																																																																							
	・SI-F2		※2.0 ・1.5				・設けない																																																																																																							
・M4S I	・SI-M1		※1.5	※製造所の仕様による			・設ける																																																																																																							
	・SI-M2		※1.5				・設けない																																																																																																							
・P1S	・S-C1		※1.0				立上り保護 モルタルの塗厚 ・図示 ・7mm																																																																																																							
比重	押出し性(秒)	スランプ(Mm)	質量変化率(%)	引張り強さ(MPa)	破断時伸び(%)	引張り接着性																																																																																																								
表示値±0.10	60以下	3.0以下	5.0以下	標準 1.0以上	標準 30.0以上	最大引張強さ 1.0MPa以上 破断時の伸び 10.0%以上																																																																																																								
		9 塗膜防水	断熱工法に用いる断熱材(SI-F1、SI-F2、SI-M1、SI-M2の場合) [3.5.2] <table border="1"> <tr><th>工法</th><th>種類</th><th>施工箇所</th><th>厚さ(mm)</th><th>種類</th><th>使用量</th><th>高日射反射率塗料の適用</th><th>備考</th></tr> <tr><td rowspan="2">・POS ・L4X</td><td>・X-1</td><td></td><td>※2成分形アクリル樹脂系</td><td>※製造所の仕様による</td><td></td><td></td><td>改修用ドレ ・設ける</td></tr> <tr><td>・X-1H</td><td></td><td>※X-2</td><td></td><td></td><td></td><td>・設けない</td></tr> <tr><td rowspan="2">・L4X</td><td>・X-1H</td><td></td><td>※X-2</td><td></td><td></td><td></td><td>・設けない</td></tr> <tr><td>・X-2H</td><td></td><td>※X-2</td><td></td><td></td><td></td><td>・設けない</td></tr> </table>	工法	種類	施工箇所	厚さ(mm)	種類	使用量	高日射反射率塗料の適用	備考	・POS ・L4X	・X-1		※2成分形アクリル樹脂系	※製造所の仕様による			改修用ドレ ・設ける	・X-1H		※X-2				・設けない	・L4X	・X-1H		※X-2				・設けない	・X-2H		※X-2				・設けない	外壁改修工事(共通事項)	① 材料品質 [4.2.4] 可とう性エポキシ樹脂 JIS A 6024による。 <table border="1"> <tr><th>比重</th><th>押出し性(秒)</th><th>スランプ(Mm)</th><th>質量変化率(%)</th><th>引張り強さ(MPa)</th><th>破断時伸び(%)</th><th>引張り接着性</th></tr> <tr><td>表示値±0.10</td><td>60以下</td><td>3.0以下</td><td>5.0以下</td><td>標準 1.0以上</td><td>標準 30.0以上</td><td>最大引張強さ 1.0MPa以上 破断時の伸び 10.0%以上</td></tr> </table> 1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3) 常温常温(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後も品質・性能が上記の各項目に適合していること。	比重	押出し性(秒)	スランプ(Mm)	質量変化率(%)	引張り強さ(MPa)	破断時伸び(%)	引張り接着性	表示値±0.10	60以下	3.0以下	5.0以下	標準 1.0以上	標準 30.0以上	最大引張強さ 1.0MPa以上 破断時の伸び 10.0%以上																																																					
工法	種類	施工箇所	厚さ(mm)	種類	使用量	高日射反射率塗料の適用	備考																																																																																																							
・POS ・L4X	・X-1		※2成分形アクリル樹脂系	※製造所の仕様による			改修用ドレ ・設ける																																																																																																							
	・X-1H		※X-2				・設けない																																																																																																							
・L4X	・X-1H		※X-2				・設けない																																																																																																							
	・X-2H		※X-2				・設けない																																																																																																							
比重	押出し性(秒)	スランプ(Mm)	質量変化率(%)	引張り強さ(MPa)	破断時伸び(%)	引張り接着性																																																																																																								
表示値±0.10	60以下	3.0以下	5.0以下	標準 1.0以上	標準 30.0以上	最大引張強さ 1.0MPa以上 破断時の伸び 10.0%以上																																																																																																								
		10 養生	養生 [2.3.1] ① 既存部分の養生 ※ ビニルシート、合板等 ② 既存家具、既存設備等の養生 ※ ビニルシート等 ③ 既存ブラインド、カーテン等の養生、保管場所 ※ 図示 ④ 固定された備品等の移動 ※ 図示 ⑤ 開口部養生 窓等の破損の危険がある工事を行う場合は、施工を行う周辺及びその下部の窓等には、室内に破損物等が飛散しない様、堅固な養生を行う。	3 仮設間仕切り(屋内)	設置箇所 ※ 図示 間仕切り種別 ※ A種 ※ B種 ※ C種 A種、B種の場合 仕上げの材種 ※セッコウボード 厚さ9.5mm 合板(普通合板) 厚さ9.0mm 塗装仕上げ等 ※ 行う ※ 行わない 仮設原設置箇所 ※ 図示 仮設原種別 ※ 合板張り木製原程度 ※ 図示																																																																																																									
		11 仮設間仕切り(屋内)	設置箇所 ※ 図示 間仕切り種別 ※ A種 ※ B種 ※ C種 A種、B種の場合 仕上げの材種 ※セッコウボード 厚さ9.5mm 合板(普通合板) 厚さ9.0mm 塗装仕上げ等 ※ 行う ※ 行わない 仮設原設置箇所 ※ 図示 仮設原種別 ※ 合板張り木製原程度 ※ 図示	4 監督職員事務所	・設ける (㎡程度) ※設けない																																																																																																									
		12 監督職員事務所	・設ける (㎡程度) ※設けない	5 養生	養生 [2.3.1] ① 既存部分の養生 ※ ビニルシート、合板等 ② 既存家具、既存設備等の養生 ※ ビニルシート等 ③ 既存ブラインド、カーテン等の養生、保管場所 ※ 図示 ④ 固定された備品等の移動 ※ 図示 ⑤ 開口部養生 窓等の破損の危険がある工事を行う場合は、施工を行う周辺及びその下部の窓等には、室内に破損物等が飛散しない様、堅固な養生を行う。																																																																																																									

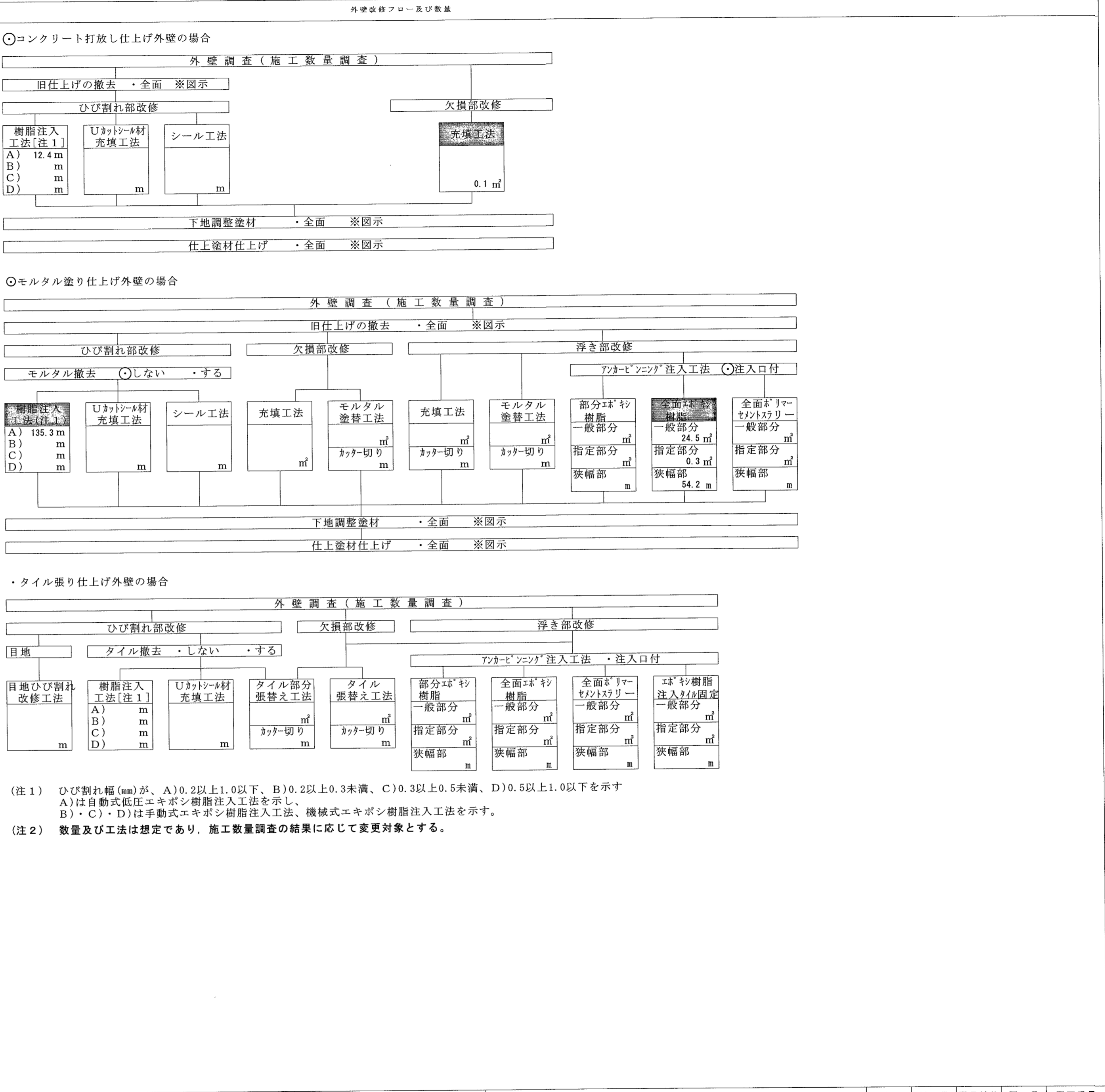
高知市 都市建設部 公共建築課

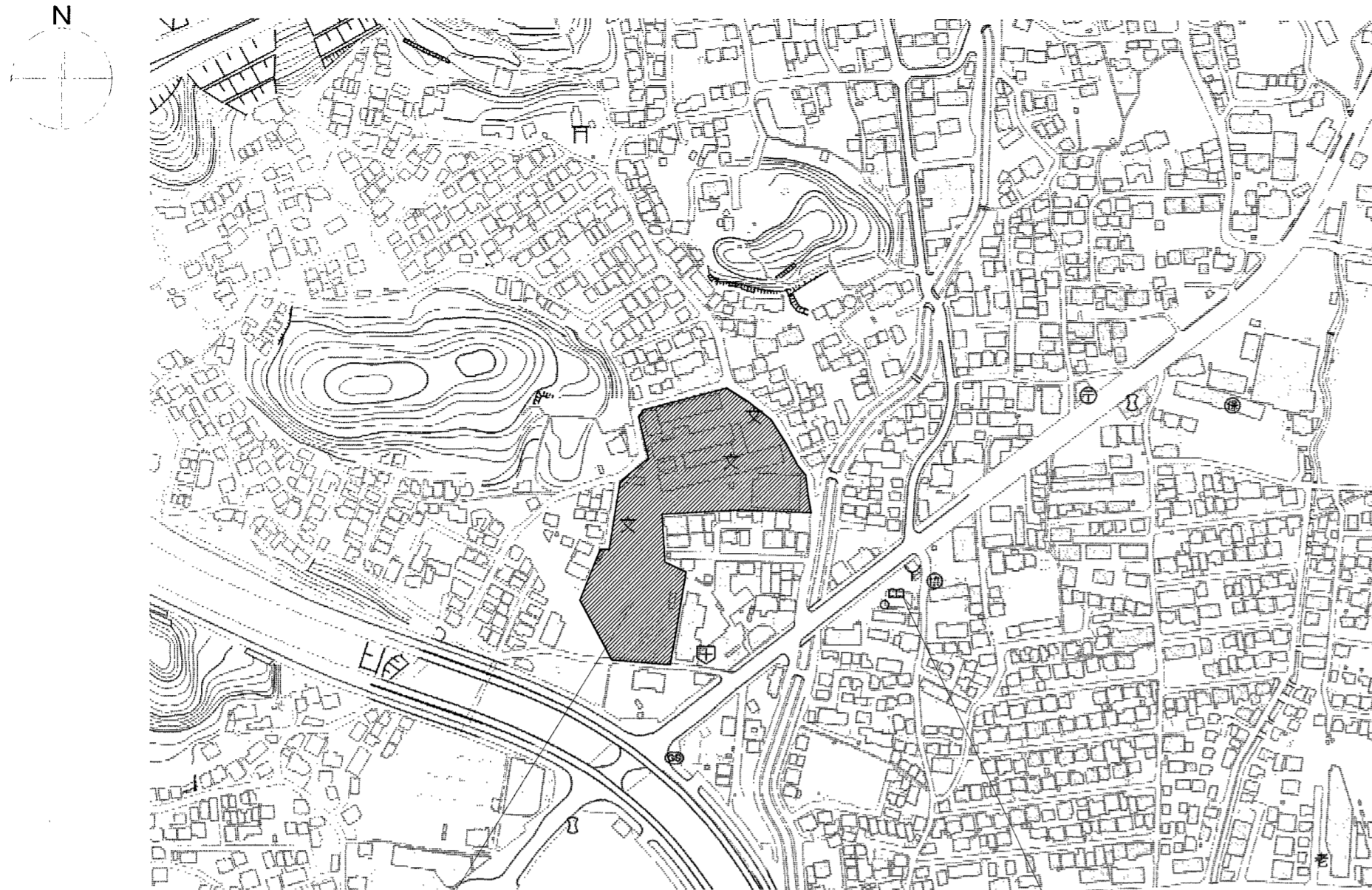
工事名	一宮小学校中舎・北舎外壁改修工事	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	改修特記仕様書(2)	縮尺	1/	作図	令和8年 2月 日	A-02

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																																																																																										
	<p>既調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、 混和材等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。</p> <table border="1"> <tr> <th>保水率 (%)</th> <th>単位容積質量 (kg/L)</th> <th colspan="2">接着強さ</th> <th>長さ変化率 (%)</th> <th>曲げ強さ (N/mm<sup>2</sup>)</th> </tr> <tr> <td>70.0以上</td> <td>1.8以上</td> <td>0.6N/mm<sup>2</sup>以上</td> <td>0.4N/mm<sup>2</sup>以上</td> <td>0.2以下</td> <td>4.0以上</td> </tr> </table>	保水率 (%)	単位容積質量 (kg/L)	接着強さ		長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )	70.0以上	1.8以上	0.6N/mm <sup>2</sup> 以上	0.4N/mm <sup>2</sup> 以上	0.2以下	4.0以上	2	<p>ひび割れ部改修工法</p> <p>※樹脂注入工法 [4.2.5][4.4.2][4.4.6]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(mL/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>※ 200~300</td> <td>※製造所の仕様 ・130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>※ 50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>※ 100~200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0以下</td> <td>※ 150~250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>コバ抜き検査 ※行わない ・行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	※ 200~300	※製造所の仕様 ・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	※ 100~200	※70		0.5以上1.0以下	※ 150~250	※130	③	<p>仕上塗材仕上げ [4.1.5][4.5.2][4.5.6][表4.5.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材Si</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td> <td>吹付け ローラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材Si</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td> <td>吹付け ローラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○外装薄塗材E</td> <td>・砂壁状 ・平たん状 ・ゆず肌状 ・着色骨材砂壁状</td> <td>吹付け こて塗り ローラー 吹付け こて塗り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材E</td> <td>・砂壁状 ・平たん状 ・ゆず肌状</td> <td>吹付け こて塗り ローラー</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防水形外装薄塗材E</td> <td>・ゆず肌状 ・砂壁状</td> <td>ローラー 吹付け</td> <td>増塗材 ・適用する</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材S</td> <td>・砂壁状</td> <td>吹付け</td> <td></td> </tr> </table> <p>厚付け仕上塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材C</td> <td>・吹放し ・平たん状 ・ひき起こし</td> <td>吹付け こて塗り</td> <td>セメント系以外の上塗材</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材Si</td> <td>・吹放し ・平たん状</td> <td>吹付け こて塗り</td> <td>上塗材 ・適用する</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材E</td> <td>・吹放し ・平たん状 ・ひき起こし</td> <td>吹付け こて塗り ローラー</td> <td></td> </tr> </table> <p>複層仕上塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・複層塗材CE ・複層塗材Si ○複層塗材E ・複層塗材RE</td> <td>・ゆず肌状 ・凸部処理 ○凹凸状</td> <td>ローラー 吹付け</td> <td>耐候性 ※耐候形3種 ・ 上塗材の種類[表4.5.2] ※水系7リットルあり</td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材CE</td> <td>・ゆず肌状 ・凸部処理</td> <td>ローラー 吹付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE</td> <td>・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状</td> <td>ローラー 吹付け</td> <td>増塗材 ・適用する</td> </tr> </table> <p>防火材料の指定 ※なし ・あり(※図示) [4.5.2]</p>	呼び名	仕上げの形状	工法	備考	・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け ローラー		・可とう形外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け ローラー		○外装薄塗材E	・砂壁状 ・平たん状 ・ゆず肌状 ・着色骨材砂壁状	吹付け こて塗り ローラー 吹付け こて塗り		・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・平たん状 ・ゆず肌状	吹付け こて塗り ローラー		・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・砂壁状	ローラー 吹付け	増塗材 ・適用する	・外装薄塗材S	・砂壁状	吹付け		呼び名	仕上げの形状	工法	備考	・外装厚塗材C	・吹放し ・平たん状 ・ひき起こし	吹付け こて塗り	セメント系以外の上塗材	・外装厚塗材Si	・吹放し ・平たん状	吹付け こて塗り	上塗材 ・適用する	・外装厚塗材E	・吹放し ・平たん状 ・ひき起こし	吹付け こて塗り ローラー		呼び名	仕上げの形状	工法	備考	・複層塗材CE ・複層塗材Si ○複層塗材E ・複層塗材RE	・ゆず肌状 ・凸部処理 ○凹凸状	ローラー 吹付け	耐候性 ※耐候形3種 ・ 上塗材の種類[表4.5.2] ※水系7リットルあり	・可とう形複層塗材CE	・ゆず肌状 ・凸部処理	ローラー 吹付け		・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状	ローラー 吹付け	増塗材 ・適用する																																																														
保水率 (%)	単位容積質量 (kg/L)	接着強さ		長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )																																																																																																																																																										
70.0以上	1.8以上	0.6N/mm <sup>2</sup> 以上	0.4N/mm <sup>2</sup> 以上	0.2以下	4.0以上																																																																																																																																																										
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)																																																																																																																																																												
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	※ 200~300	※製造所の仕様 ・130																																																																																																																																																												
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40																																																																																																																																																												
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	※ 100~200	※70																																																																																																																																																												
	0.5以上1.0以下	※ 150~250	※130																																																																																																																																																												
呼び名	仕上げの形状	工法	備考																																																																																																																																																												
・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け ローラー																																																																																																																																																													
・可とう形外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け ローラー																																																																																																																																																													
○外装薄塗材E	・砂壁状 ・平たん状 ・ゆず肌状 ・着色骨材砂壁状	吹付け こて塗り ローラー 吹付け こて塗り																																																																																																																																																													
・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・平たん状 ・ゆず肌状	吹付け こて塗り ローラー																																																																																																																																																													
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・砂壁状	ローラー 吹付け	増塗材 ・適用する																																																																																																																																																												
・外装薄塗材S	・砂壁状	吹付け																																																																																																																																																													
呼び名	仕上げの形状	工法	備考																																																																																																																																																												
・外装厚塗材C	・吹放し ・平たん状 ・ひき起こし	吹付け こて塗り	セメント系以外の上塗材																																																																																																																																																												
・外装厚塗材Si	・吹放し ・平たん状	吹付け こて塗り	上塗材 ・適用する																																																																																																																																																												
・外装厚塗材E	・吹放し ・平たん状 ・ひき起こし	吹付け こて塗り ローラー																																																																																																																																																													
呼び名	仕上げの形状	工法	備考																																																																																																																																																												
・複層塗材CE ・複層塗材Si ○複層塗材E ・複層塗材RE	・ゆず肌状 ・凸部処理 ○凹凸状	ローラー 吹付け	耐候性 ※耐候形3種 ・ 上塗材の種類[表4.5.2] ※水系7リットルあり																																																																																																																																																												
・可とう形複層塗材CE	・ゆず肌状 ・凸部処理	ローラー 吹付け																																																																																																																																																													
・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状	ローラー 吹付け	増塗材 ・適用する																																																																																																																																																												
外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ	<p>※樹脂注入工法 [4.2.5]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(mL/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0以下</td> <td>※ 200~300</td> <td>※製造所の仕様 ・130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>※ 50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>※ 100~200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0以下</td> <td>※ 150~250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>コバ抜き検査 ※行わない ・行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)</p> <p>・Uカットシール材充填工法 [4.2.6]</p> <p>・シーリング材 ・充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法 [4.2.7]</p> <p>・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>※充填工法 [4.2.8]</p> <p>※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※ 200~300	※製造所の仕様 ・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	※ 100~200	※70		0.5以上1.0以下	※ 150~250	※130	3	<p>欠損部改修工法</p> <p>・タイル部分張替え工法 [4.4.5][4.4.7]</p> <p>張付け材料の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・有機系接着剤 ※JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系</p> <p>・タイル張替え工法 [4.4.2][4.4.5][4.4.8]</p> <p>張付けモルタル ・現場調合モルタル ・既調合モルタル 伸縮調整目地及び、ひび割れ誘発目地の位置 ※表4.4.2による ・図示 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着剤試験 ・行う ・行わない</p> <p>・セメントモルタルによるタイル張り タイル張りの工法 外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り ・有機系接着剤によるタイル張り タイルの種類 ( ) 目地詰め ・行う ・行わない ( )</p> <p>・下地モルタル塗りをを行うコンクリート素地面の処理 ※目荒し工法 [4.4.8]</p>	④	<p>塗装改修工事</p> <p>① 一般事項 [7.1.3]</p> <p>屋内で使用される塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆とする [7.1.3]</p> <p>防火材料 ・屋内の壁及び天井の塗装仕上げは、防火材料とする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所: )</p> <p>② 下地調整 [7.2.1]</p> <p>塗替えR B種の既存塗膜の除去範囲 ※劣化部分は除去し、活膜部分は残す [7.2.2~7.2.7][表7.2.1~表7.2.7]</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">下地面の種類</th> <th>下地調整の種類</th> <th>ひび割れの補修</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>不透明塗料塗り</td> <td>※R B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>透明塗料塗り</td> <td>※R B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td></td> <td>※R B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td></td> <td>※R B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>モルタル面、プラスチック面</td> <td></td> <td>※R B種</td> <td>・ ・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP以外)・ALCパネル面</td> <td></td> <td>※R B種</td> <td>・ ・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP)・押出成形セメント板面</td> <td></td> <td>・</td> <td>・ ・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面・その他ボード面</td> <td></td> <td>※R B種</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>③ 素地ごしらえ [7.3.2~7.3.7][表7.3.1~表7.3.7]</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">下地面等</th> <th colspan="2">種別</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>不透明塗料塗り</td> <td>※A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>透明塗料塗り</td> <td>・A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面(DP以外)</td> <td></td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面(DP)</td> <td></td> <td>・A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td></td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面及びプラスチック面</td> <td></td> <td>・A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート・ALCパネル面(DP以外)</td> <td></td> <td>・A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート(DP)</td> <td></td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td></td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面(継目処理工法)</td> <td></td> <td>※A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面(継目処理以外)・その他ボード面</td> <td></td> <td>・A種</td> <td>※B種</td> </tr> </table> <p>④ 錆止め塗料の種別 [7.3.3, 7.4.2~7.4.3][表7.3.3, 表7.4.1~表7.4.6]</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">塗料</th> <th colspan="2">工程</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄鋼面</td> <td>SOP</td> <td>塗替え 新規見え掛り部分 新規見え隠れ部分</td> <td>※A種</td> <td>※C種</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>DP</td> <td>塗替え</td> <td>1回目 C種 2、3回目 D種</td> <td>※A種</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋内(EF-G)</td> <td>SOP</td> <td>塗替え 新規見え掛り部分 新規見え隠れ部分</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> <td>※A種 ・B種 ・C種</td> </tr> <tr> <td>DP</td> <td>塗替え</td> <td>1回目 C種 2、3回目 D種</td> <td>※A種</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">亜鉛めっき鋼面</td> <td>SOP</td> <td>塗替え 鋼製建具 鋼製建具以外</td> <td>※A種 ・B種</td> <td>※A種 ・B種</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>DP</td> <td>塗替え 鋼製建具 鋼製建具以外</td> <td>※B種</td> <td>※A種 [表7.4.6]</td> <td>※B種 [表7.4.6]</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋内(EF-G)</td> <td>SOP</td> <td>塗替え 鋼製建具 鋼製建具以外</td> <td>※B種</td> <td>※C種</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>DP</td> <td>塗替え</td> <td>※C種</td> <td>※A種 ・B種</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> </table>	下地面の種類		下地調整の種類	ひび割れの補修	木部	不透明塗料塗り	※R B種	・		透明塗料塗り	※R B種	・	鉄鋼面		※R B種	・	亜鉛めっき鋼面		※R B種	・	モルタル面、プラスチック面		※R B種	・ ・行う ・行わない	コンクリート面(DP以外)・ALCパネル面		※R B種	・ ・行う ・行わない	コンクリート面(DP)・押出成形セメント板面		・	・ ・行う ・行わない	せつこうボード面・その他ボード面		※R B種	・	下地面等		種別		木部	不透明塗料塗り	※A種	・B種		透明塗料塗り	・A種	※B種	鉄鋼面(DP以外)		・A種	・B種	鉄鋼面(DP)		・A種	※B種	亜鉛めっき鋼面		・A種	・B種	モルタル面及びプラスチック面		・A種	※B種	コンクリート・ALCパネル面(DP以外)		・A種	※B種	コンクリート(DP)		・A種	・B種	押出成形セメント板面		・A種	・B種	せつこうボード面(継目処理工法)		※A種	・B種	せつこうボード面(継目処理以外)・その他ボード面		・A種	※B種	塗装面		塗料		工程		鉄鋼面	SOP	塗替え 新規見え掛り部分 新規見え隠れ部分	※A種	※C種	※A種 ・B種	DP	塗替え	1回目 C種 2、3回目 D種	※A種	※B種 ・A種	屋内(EF-G)	SOP	塗替え 新規見え掛り部分 新規見え隠れ部分	※B種	・A種	※A種 ・B種 ・C種	DP	塗替え	1回目 C種 2、3回目 D種	※A種	※B種 ・A種	亜鉛めっき鋼面	SOP	塗替え 鋼製建具 鋼製建具以外	※A種 ・B種	※A種 ・B種	※A種 ・B種	DP	塗替え 鋼製建具 鋼製建具以外	※B種	※A種 [表7.4.6]	※B種 [表7.4.6]	屋内(EF-G)	SOP	塗替え 鋼製建具 鋼製建具以外	※B種	※C種	※A種 ・B種	DP	塗替え	※C種	※A種 ・B種	※A種 ・B種
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)																																																																																																																																																												
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※ 200~300	※製造所の仕様 ・130																																																																																																																																																												
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40																																																																																																																																																												
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	※ 100~200	※70																																																																																																																																																												
	0.5以上1.0以下	※ 150~250	※130																																																																																																																																																												
下地面の種類		下地調整の種類	ひび割れの補修																																																																																																																																																												
木部	不透明塗料塗り	※R B種	・																																																																																																																																																												
	透明塗料塗り	※R B種	・																																																																																																																																																												
鉄鋼面		※R B種	・																																																																																																																																																												
亜鉛めっき鋼面		※R B種	・																																																																																																																																																												
モルタル面、プラスチック面		※R B種	・ ・行う ・行わない																																																																																																																																																												
コンクリート面(DP以外)・ALCパネル面		※R B種	・ ・行う ・行わない																																																																																																																																																												
コンクリート面(DP)・押出成形セメント板面		・	・ ・行う ・行わない																																																																																																																																																												
せつこうボード面・その他ボード面		※R B種	・																																																																																																																																																												
下地面等		種別																																																																																																																																																													
木部	不透明塗料塗り	※A種	・B種																																																																																																																																																												
	透明塗料塗り	・A種	※B種																																																																																																																																																												
鉄鋼面(DP以外)		・A種	・B種																																																																																																																																																												
鉄鋼面(DP)		・A種	※B種																																																																																																																																																												
亜鉛めっき鋼面		・A種	・B種																																																																																																																																																												
モルタル面及びプラスチック面		・A種	※B種																																																																																																																																																												
コンクリート・ALCパネル面(DP以外)		・A種	※B種																																																																																																																																																												
コンクリート(DP)		・A種	・B種																																																																																																																																																												
押出成形セメント板面		・A種	・B種																																																																																																																																																												
せつこうボード面(継目処理工法)		※A種	・B種																																																																																																																																																												
せつこうボード面(継目処理以外)・その他ボード面		・A種	※B種																																																																																																																																																												
塗装面		塗料		工程																																																																																																																																																											
鉄鋼面	SOP	塗替え 新規見え掛り部分 新規見え隠れ部分	※A種	※C種	※A種 ・B種																																																																																																																																																										
	DP	塗替え	1回目 C種 2、3回目 D種	※A種	※B種 ・A種																																																																																																																																																										
屋内(EF-G)	SOP	塗替え 新規見え掛り部分 新規見え隠れ部分	※B種	・A種	※A種 ・B種 ・C種																																																																																																																																																										
	DP	塗替え	1回目 C種 2、3回目 D種	※A種	※B種 ・A種																																																																																																																																																										
亜鉛めっき鋼面	SOP	塗替え 鋼製建具 鋼製建具以外	※A種 ・B種	※A種 ・B種	※A種 ・B種																																																																																																																																																										
	DP	塗替え 鋼製建具 鋼製建具以外	※B種	※A種 [表7.4.6]	※B種 [表7.4.6]																																																																																																																																																										
屋内(EF-G)	SOP	塗替え 鋼製建具 鋼製建具以外	※B種	※C種	※A種 ・B種																																																																																																																																																										
	DP	塗替え	※C種	※A種 ・B種	※A種 ・B種																																																																																																																																																										
外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ	<p>※樹脂注入工法 [4.2.5(1)~(5)][4.3.6]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(mL/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0以下</td> <td>※ 200~300</td> <td>※製造所の仕様 ・130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>※ 50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>※ 100~200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0以下</td> <td>※ 150~250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>コバ抜き検査 ※行わない ・行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)</p> <p>・Uカットシール材充填工法 [4.2.6][4.3.7]</p> <p>・シーリング材 ・充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法 [4.2.7][4.3.8]</p> <p>・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>※充填工法 [4.2.8(3)(4)][4.3.9]</p> <p>※エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法 [4.3.10]</p> <p>仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横φ200打込、ステンレス製ラス等張り ・図示</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※ 200~300	※製造所の仕様 ・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	※ 100~200	※70		0.5以上1.0以下	※ 150~250	※130	4	<p>浮き部改修工法</p> <p>改修工法の種類 [4.3.11~16][4.4.9~4.4.15]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)</th> <th colspan="3">アンカーピンの本数</th> <th colspan="3">注入口の箇所数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>一般部分指定部分 本/m<sup>2</sup></th> <th>狭幅部 本/m<sup>2</sup></th> <th>幅部 本/m</th> <th>一般部分指定部分 箇所/m<sup>2</sup></th> <th>狭幅部 箇所/m<sup>2</sup></th> <th>幅部 箇所/m</th> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>※5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>注入量 ※ 25 mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 25 mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 50 mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>注入量 ※ 25 mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 25 mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※ 50 mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入工法固定工法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </table> <p>アンカーピン [4.3.5]</p> <p>※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの。</p> <p>注入口付アンカーピン [4.3.5]</p> <p>※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm</p> <p>・タイル部分張替え工法 [4.4.7]</p> <p>張付け材料の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・有機系接着剤 ※JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系</p> <p>・タイル張替え工法 [4.4.8]</p> <p>張付けモルタル ・現場調合モルタル ・既調合モルタル 伸縮調整目地及び、ひび割れ誘発目地の位置 ※表4.4.2による ・図示 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着剤試験 ・行う ・行わない ・セメントモルタルによるタイル張り タイル張りの工法 外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り ・有機系接着剤によるタイル張り ・下地モルタル塗りをを行うコンクリート素地面の処理 ※目荒し工法</p> <p>・目地ひび割れ部改修工法 [4.4.16]</p> <p>・伸縮調整目地改修工法 [4.4.16]</p> <p>伸縮調整目地の位置及び寸法 ※図示</p>	改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数			注入口の箇所数			備考	一般部分指定部分 本/m <sup>2</sup>	狭幅部 本/m <sup>2</sup>	幅部 本/m	一般部分指定部分 箇所/m <sup>2</sup>	狭幅部 箇所/m <sup>2</sup>	幅部 箇所/m	・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	-	-	-	注入量 ※ 25 mL	・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 25 mL	・アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 50 mL	・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	-	-	-	注入量 ※ 25 mL	・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 25 mL	・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 50 mL	・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入工法固定工法	・	・	・	-	-	-		①	<p>外壁改修工事 仕上げ塗材仕上げ</p> <p>① 既存塗膜等の除去及び下地処理 [4.5.4]</p> <p>既存塗膜の劣化部の除去及び下地の処理の工法 [4.5.4]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> </tr> <tr> <td>・サンダー工法</td> <td>※既存仕上面全体 ・図示</td> </tr> <tr> <td>・高圧水洗工法</td> <td>※既存仕上面全体 ・図示</td> </tr> <tr> <td>・塗膜はく離剤工法</td> <td>※既存仕上面全体 ・図示</td> </tr> <tr> <td>※水洗工法</td> <td>※既存仕上面全体 ・図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・他工法の処理範囲以外の既存仕上面全体</td> </tr> </table> <p>石綿含有仕上塗材の除去は、環境配慮改修工事による。</p> <p>② 下地調整材 [4.5.2~4.5.4]</p> <p>材料 ※下地調整塗材 ※C-1(複層塗材E下地) ・C-2( ) ・CM-2( ) [4.5.2~4.5.4]</p> <p>工法 ※製造所の仕様による [4.5.4]</p>	工法	処理範囲	・サンダー工法	※既存仕上面全体 ・図示	・高圧水洗工法	※既存仕上面全体 ・図示	・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体 ・図示	※水洗工法	※既存仕上面全体 ・図示		・他工法の処理範囲以外の既存仕上面全体																																																				
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)																																																																																																																																																												
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※ 200~300	※製造所の仕様 ・130																																																																																																																																																												
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	※ 50~100	※40																																																																																																																																																												
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	※ 100~200	※70																																																																																																																																																												
	0.5以上1.0以下	※ 150~250	※130																																																																																																																																																												
改修工法の種類 (タイルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数			注入口の箇所数			備考																																																																																																																																																								
	一般部分指定部分 本/m <sup>2</sup>	狭幅部 本/m <sup>2</sup>	幅部 本/m	一般部分指定部分 箇所/m <sup>2</sup>	狭幅部 箇所/m <sup>2</sup>	幅部 箇所/m																																																																																																																																																									
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	-	-	-	注入量 ※ 25 mL																																																																																																																																																								
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 25 mL																																																																																																																																																								
・アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※ 50 mL																																																																																																																																																								
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	-	-	-	注入量 ※ 25 mL																																																																																																																																																								
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 25 mL																																																																																																																																																								
・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメント注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※ 50 mL																																																																																																																																																								
・注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入工法固定工法	・	・	・	-	-	-																																																																																																																																																									
工法	処理範囲																																																																																																																																																														
・サンダー工法	※既存仕上面全体 ・図示																																																																																																																																																														
・高圧水洗工法	※既存仕上面全体 ・図示																																																																																																																																																														
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体 ・図示																																																																																																																																																														
※水洗工法	※既存仕上面全体 ・図示																																																																																																																																																														
	・他工法の処理範囲以外の既存仕上面全体																																																																																																																																																														
外壁改修工事 タイル張り仕上げ	<p>① タイル材料 [4.4.5]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法(mm)</th> <th colspan="2">吸水率の区分</th> <th colspan="2">うわぐすり</th> <th rowspan="2">色</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐滑り性</th> <th rowspan="2">役物の適用</th> <th rowspan="2">品質(公表単価(円/m<sup>2</sup>))</th> </tr> <tr> <th>I類</th> <th>II類</th> <th>III類</th> <th>施釉</th> <th>無釉</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする。</p> <p>タイルの試験張り ※行わない ・行う [4.4.8]</p> <p>タイルの見本焼き ※行わない ・行う [4.4.8]</p>	施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率の区分		うわぐすり		色	耐凍害性	耐滑り性	役物の適用	品質(公表単価(円/m <sup>2</sup> ))	I類	II類	III類	施釉	無釉			・	・	・	・	・	・	・	・	・			・	・	・	・	・	・	・	・	・			・	・	・	・	・	・	・	・	・	②	<p>② 錆止め塗料の種別 [7.3.3, 7.4.2~7.4.3][表7.3.3, 表7.4.1~表7.4.6]</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">塗料</th> <th colspan="2">工程</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄鋼面</td> <td>SOP</td> <td>塗替え 新規見え掛り部分 新規見え隠れ部分</td> <td>※A種</td> <td>※C種</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>DP</td> <td>塗替え</td> <td>1回目 C種 2、3回目 D種</td> <td>※A種</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋内(EF-G)</td> <td>SOP</td> <td>塗替え 新規見え掛り部分 新規見え隠れ部分</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> <td>※A種 ・B種 ・C種</td> </tr> <tr> <td>DP</td> <td>塗替え</td> <td>1回目 C種 2、3回目 D種</td> <td>※A種</td> <td>※B種 ・A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">亜鉛めっき鋼面</td> <td>SOP</td> <td>塗替え 鋼製建具 鋼製建具以外</td> <td>※A種 ・B種</td> <td>※A種 ・B種</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>DP</td> <td>塗替え 鋼製建具 鋼製建具以外</td> <td>※B種</td> <td>※A種 [表7.4.6]</td> <td>※B種 [表7.4.6]</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋内(EF-G)</td> <td>SOP</td> <td>塗替え 鋼製建具 鋼製建具以外</td> <td>※B種</td> <td>※C種</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>DP</td> <td>塗替え</td> <td>※C種</td> <td>※A種 ・B種</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> </table>	塗装面		塗料		工程		鉄鋼面	SOP	塗替え 新規見え掛り部分 新規見え隠れ部分	※A種	※C種	※A種 ・B種	DP	塗替え	1回目 C種 2、3回目 D種	※A種	※B種 ・A種	屋内(EF-G)	SOP	塗替え 新規見え掛り部分 新規見え隠れ部分	※B種	・A種	※A種 ・B種 ・C種	DP	塗替え	1回目 C種 2、3回目 D種	※A種	※B種 ・A種	亜鉛めっき鋼面	SOP	塗替え 鋼製建具 鋼製建具以外	※A種 ・B種	※A種 ・B種	※A種 ・B種	DP	塗替え 鋼製建具 鋼製建具以外	※B種	※A種 [表7.4.6]	※B種 [表7.4.6]	屋内(EF-G)	SOP	塗替え 鋼製建具 鋼製建具以外	※B種	※C種	※A種 ・B種	DP	塗替え	※C種	※A種 ・B種	※A種 ・B種																																																									
施工箇所	形状寸法(mm)			吸水率の区分		うわぐすり							色	耐凍害性	耐滑り性	役物の適用	品質(公表単価(円/m <sup>2</sup> ))																																																																																																																																														
		I類	II類	III類	施釉	無釉																																																																																																																																																									
		・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																					
		・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																					
		・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																					
塗装面		塗料		工程																																																																																																																																																											
鉄鋼面	SOP	塗替え 新規見え掛り部分 新規見え隠れ部分	※A種	※C種	※A種 ・B種																																																																																																																																																										
	DP	塗替え	1回目 C種 2、3回目 D種	※A種	※B種 ・A種																																																																																																																																																										
屋内(EF-G)	SOP	塗替え 新規見え掛り部分 新規見え隠れ部分	※B種	・A種	※A種 ・B種 ・C種																																																																																																																																																										
	DP	塗替え	1回目 C種 2、3回目 D種	※A種	※B種 ・A種																																																																																																																																																										
亜鉛めっき鋼面	SOP	塗替え 鋼製建具 鋼製建具以外	※A種 ・B種	※A種 ・B種	※A種 ・B種																																																																																																																																																										
	DP	塗替え 鋼製建具 鋼製建具以外	※B種	※A種 [表7.4.6]	※B種 [表7.4.6]																																																																																																																																																										
屋内(EF-G)	SOP	塗替え 鋼製建具 鋼製建具以外	※B種	※C種	※A種 ・B種																																																																																																																																																										
	DP	塗替え	※C種	※A種 ・B種	※A種 ・B種																																																																																																																																																										

項目	特記事項																																																																																																													
⑤ 塗装の種類	<p>[7.3.2、7.5.2~7.13.2][表7.5.1~表7.13.1]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>略号</th> <th>塗装</th> <th>塗装面</th> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">○ SOP</td> <td rowspan="4">合成樹脂調合ペイント塗り 塗料の種類 ※1種</td> <td>木部(屋外)</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>木部(屋内)</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面 鋼製建具 (亜鉛めっき鋼面)</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>・ CL</td> <td>クリヤラッカー塗り</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>・ NAD</td> <td>アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ DP</td> <td rowspan="3">耐候性塗料塗り 上塗り塗料等級 ・1級・2級 ・3級</td> <td>鉄鋼面</td> <td>表7.8.1</td> <td>表7.8.1</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>表7.8.2</td> <td>表7.8.2</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及びBCP面</td> <td>・A-2・B-2 ・C-2</td> <td>・A-1・B-1 ・C-1</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">・ EP-G</td> <td rowspan="7">つや有合成樹脂エマルションペイント塗り</td> <td>コンクリート面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>ガラス面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>その他ボード面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>屋内木部</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>屋内鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>屋内亜鉛めっき鋼面</td> <td>※A種</td> <td>※A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">・ EP</td> <td rowspan="4">合成樹脂エマルションペイント塗り</td> <td>コンクリート面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>ガラス面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>・ UC</td> <td>ウレタン樹脂ワニス塗り</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>・ スティン</td> <td>・ ビグメントスティン塗り ・ オイルスティン塗り(OS)</td> <td>表7.12.1</td> <td>表7.12.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ WP</td> <td>木材保護塗料塗り</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>CL A種の場合の塗料の種類 UC 着色・適用する OS 仕様・図示</p>	略号	塗装	塗装面	塗替え	新規	○ SOP	合成樹脂調合ペイント塗り 塗料の種類 ※1種	木部(屋外)	※B種	※A種	木部(屋内)	※B種	※B種	鉄鋼面	※B種	※B種・A種	亜鉛めっき鋼面 鋼製建具 (亜鉛めっき鋼面)	※B種	※B種	・ CL	クリヤラッカー塗り	※B種	・A種	※B種	・A種	・ NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	※B種	・A種	※B種	・A種	・ DP	耐候性塗料塗り 上塗り塗料等級 ・1級・2級 ・3級	鉄鋼面	表7.8.1	表7.8.1	亜鉛めっき鋼面	表7.8.2	表7.8.2	コンクリート面及びBCP面	・A-2・B-2 ・C-2	・A-1・B-1 ・C-1	・ EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り	コンクリート面	※B種	※B種	・A種	モルタル面	※B種	※B種	・A種	ガラス面	※B種	※B種	・A種	せつこうボード面	※B種	※B種	・A種	その他ボード面	※B種	※B種	・A種	屋内木部	※B種	※A種		屋内鉄鋼面	※B種	※A種	・B種	屋内亜鉛めっき鋼面	※A種	※A種	・B種	・ EP	合成樹脂エマルションペイント塗り	コンクリート面	※B種	※B種	・A種	モルタル面	※B種	※B種	・A種	ガラス面	※B種	※B種	・A種	せつこうボード面	※B種	※B種	・A種	・ UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	※B種	※B種	・A種	・ スティン	・ ビグメントスティン塗り ・ オイルスティン塗り(OS)	表7.12.1	表7.12.1		・ WP	木材保護塗料塗り	※B種	※B種	
略号	塗装	塗装面	塗替え	新規																																																																																																										
○ SOP	合成樹脂調合ペイント塗り 塗料の種類 ※1種	木部(屋外)	※B種	※A種																																																																																																										
		木部(屋内)	※B種	※B種																																																																																																										
		鉄鋼面	※B種	※B種・A種																																																																																																										
		亜鉛めっき鋼面 鋼製建具 (亜鉛めっき鋼面)	※B種	※B種																																																																																																										
・ CL	クリヤラッカー塗り	※B種	・A種	※B種	・A種																																																																																																									
・ NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	※B種	・A種	※B種	・A種																																																																																																									
・ DP	耐候性塗料塗り 上塗り塗料等級 ・1級・2級 ・3級	鉄鋼面	表7.8.1	表7.8.1																																																																																																										
		亜鉛めっき鋼面	表7.8.2	表7.8.2																																																																																																										
		コンクリート面及びBCP面	・A-2・B-2 ・C-2	・A-1・B-1 ・C-1																																																																																																										
・ EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り	コンクリート面	※B種	※B種	・A種																																																																																																									
		モルタル面	※B種	※B種	・A種																																																																																																									
		ガラス面	※B種	※B種	・A種																																																																																																									
		せつこうボード面	※B種	※B種	・A種																																																																																																									
		その他ボード面	※B種	※B種	・A種																																																																																																									
		屋内木部	※B種	※A種																																																																																																										
		屋内鉄鋼面	※B種	※A種	・B種																																																																																																									
屋内亜鉛めっき鋼面	※A種	※A種	・B種																																																																																																											
・ EP	合成樹脂エマルションペイント塗り	コンクリート面	※B種	※B種	・A種																																																																																																									
		モルタル面	※B種	※B種	・A種																																																																																																									
		ガラス面	※B種	※B種	・A種																																																																																																									
		せつこうボード面	※B種	※B種	・A種																																																																																																									
・ UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	※B種	※B種	・A種																																																																																																										
・ スティン	・ ビグメントスティン塗り ・ オイルスティン塗り(OS)	表7.12.1	表7.12.1																																																																																																											
・ WP	木材保護塗料塗り	※B種	※B種																																																																																																											

環境配慮改修工事																																										
1 石綿含有建材の除去工事	石綿含有建材の有無及び除去等 [9.1.3~9.1.5]	<table border="1"> <thead> <tr> <th>石綿含有建材の種類</th> <th>使用部位</th> <th>使用材料</th> <th>除去工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">飛散性 ・ 石綿含有吹付材</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>※ 9.1.3による</td> </tr> <tr> <td>※ 9.1.3による</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非飛散性 ・ 石綿含有保温材</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>※ 9.1.4による</td> </tr> <tr> <td>※ 9.1.5による</td> </tr> </tbody> </table> <p>石綿含有吹付材の飛散防止処置 ※ 湿潤化 ・ 固形化</p> <p>・ 石綿含有仕上塗料の除去 使用部位 ( ) 使用材料 ( ) 除去工法 ( ) ※ 厚生労働省「石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル」による工法の内、飛散防止に関し隔離措置と同等と判断できる工法</p> <p>除去範囲 ※ 図示 試験施工 ※ 行わない ・ 行う</p> <p>処分 [9.1.3] 管理型・安定型を確認の上、廃棄物処理法による許可を受けた施設で適切に処理すること。</p> <p>石綿粉じん濃度測定 [9.1.1] ※ 建築物石綿含有建材調査報告書により、監督職員と協議する。 ・ 行う ・ 行わない</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定名称</th> <th>測定点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">処理作業前</td> <td rowspan="2">・ 処理作業室内 ・ 施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>測定1</td> <td>※ 2点 ・ 3点</td> </tr> <tr> <td>測定2</td> <td>※ 2点</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">処理作業中</td> <td rowspan="3">・ 処理作業室内 ※ セキュリティゾーン入口 ※ 集じん、排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)</td> <td>測定3</td> <td>※ 2点</td> </tr> <tr> <td>測定4</td> <td>※ 1点</td> </tr> <tr> <td>測定5</td> <td>※ 1点</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">処理作業後 (隔離シート撤去前)</td> <td rowspan="3">※ 施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>測定6</td> <td>※ 4方向 各1点</td> </tr> <tr> <td>測定7</td> <td>※ 2点以上</td> </tr> <tr> <td>測定8</td> <td>※ 4方向 各1点</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法 ・ JIS K3850-1に基づいた測定 (・測定4 ・測定5 ・測定6 ・測定7 ) ・ 自動測定器による測定 (・測定4 ・測定5 )</p>	石綿含有建材の種類	使用部位	使用材料	除去工法	飛散性 ・ 石綿含有吹付材			※ 9.1.3による	※ 9.1.3による	非飛散性 ・ 石綿含有保温材			※ 9.1.4による	※ 9.1.5による	測定時期	測定場所	測定名称	測定点	処理作業前	・ 処理作業室内 ・ 施工区画周辺又は敷地境界	測定1	※ 2点 ・ 3点	測定2	※ 2点	処理作業中	・ 処理作業室内 ※ セキュリティゾーン入口 ※ 集じん、排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	測定3	※ 2点	測定4	※ 1点	測定5	※ 1点	処理作業後 (隔離シート撤去前)	※ 施工区画周辺又は敷地境界	測定6	※ 4方向 各1点	測定7	※ 2点以上	測定8	※ 4方向 各1点
石綿含有建材の種類	使用部位	使用材料	除去工法																																							
飛散性 ・ 石綿含有吹付材			※ 9.1.3による																																							
			※ 9.1.3による																																							
非飛散性 ・ 石綿含有保温材			※ 9.1.4による																																							
			※ 9.1.5による																																							
測定時期	測定場所	測定名称	測定点																																							
処理作業前	・ 処理作業室内 ・ 施工区画周辺又は敷地境界	測定1	※ 2点 ・ 3点																																							
		測定2	※ 2点																																							
処理作業中	・ 処理作業室内 ※ セキュリティゾーン入口 ※ 集じん、排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	測定3	※ 2点																																							
		測定4	※ 1点																																							
		測定5	※ 1点																																							
処理作業後 (隔離シート撤去前)	※ 施工区画周辺又は敷地境界	測定6	※ 4方向 各1点																																							
		測定7	※ 2点以上																																							
		測定8	※ 4方向 各1点																																							





工事場所：一宮小学校

一宮ふれあいセンター

付近見取図

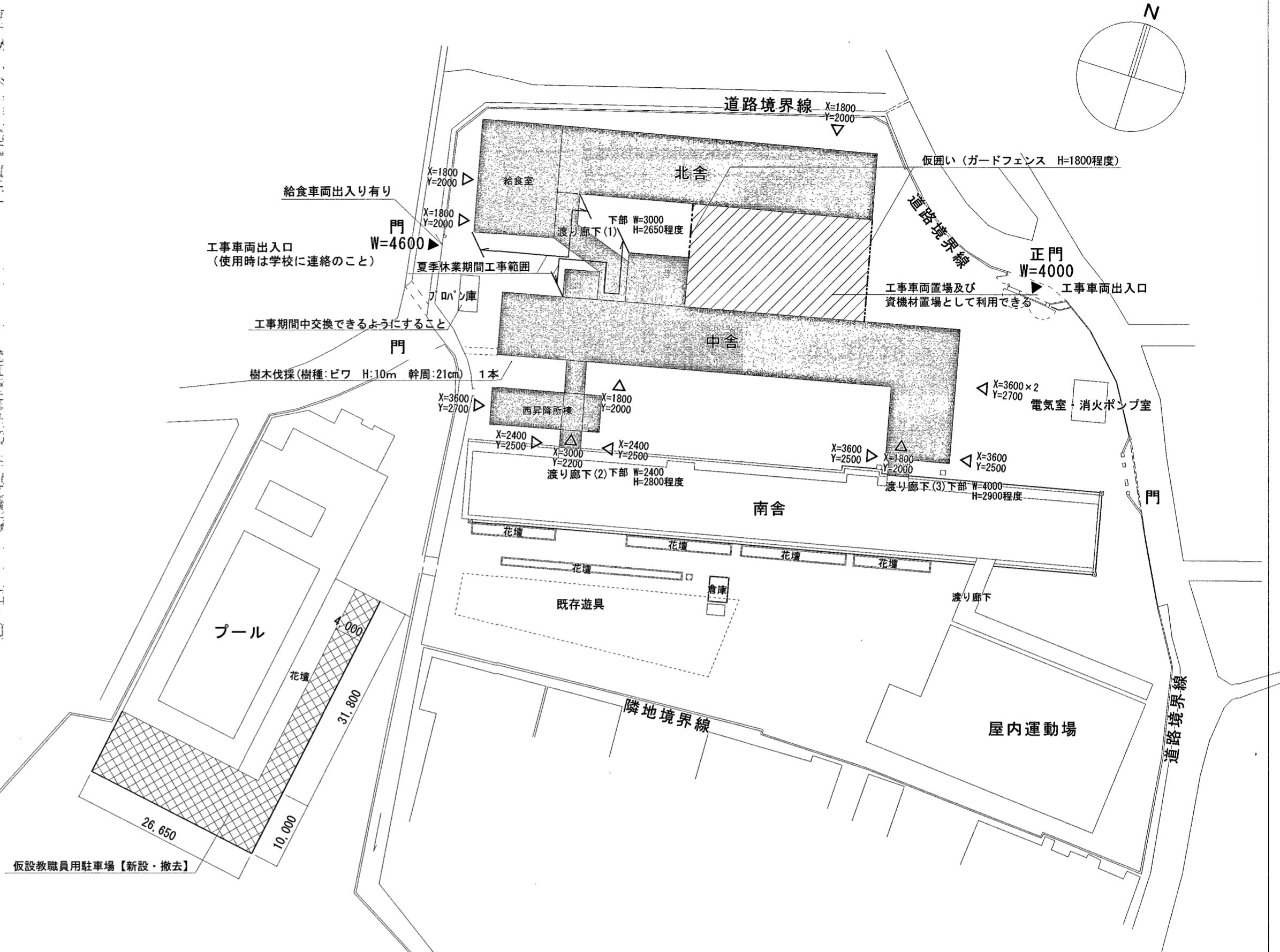
■ 施工条件・注意事項

- 工事に支障がない範囲で、屋内の換気が行えるように配慮すること。
- 躯体の削孔及びはつり作業は、授業中の作業を禁止とする。(作業禁止時間は校時表による。)
- 外壁面に設置されている設備(配線・配管・室外機など)は既存のままとし、養生のうえ作業を行うこと。
- 学期中、昇降所入口や渡り廊下などに児童の移動を妨げないよう仮設計画すること。
- 夏季休業期間：令和8年7月18日～令和8年8月31日
- 登校時は7:45～8:30を工事関係車両通行禁止とする。  
また、下校時においては下記の時間帯も同様とする  
・水曜日 14:30～15:30  
・月、火、木、金曜日 15:00～16:00

■ 音の出る作業不可日

下記の日には音の出る作業禁止とする。  
なお、学校行事予定が変更になる等、作業可能となる場合もあるため、事前に施設管理者に確認すること  
令和8年6月2日終日、4日終日、9日終日、10日終日、24日終日、26日終日  
令和8年7月15日午後、16日午後  
令和8年9月18日終日、30日終日  
令和8年10月14日終日、16日終日、28日終日  
令和8年11月7日終日、26日終日

校時表	月	火	水	木	金
よむよむタイム	8:25～8:35				全校集会 8:25～8:35
朝登校	8:35～8:45	8:35～8:45	8:35～8:45	8:35～8:45	8:35～8:45
1時間目	8:45～9:30	8:45～9:30	8:45～9:30	8:45～9:30	8:45～9:30
休み時間	9:30～9:40				
2時間目	9:40～10:25	9:40～10:25	9:40～10:25	9:40～10:25	9:40～10:25
休み時間	10:25～10:45				
3時間目	10:45～11:30	10:45～11:30	10:45～11:30	10:45～11:30	10:45～11:30
4時間目	11:30～11:40	11:30～11:40	11:30～11:40	11:30～11:40	11:30～11:40
5時間目	11:40～12:25	11:40～12:25	11:40～12:25	11:40～12:25	11:40～12:25
休み時間	13:10～13:30	13:00～13:20	13:10～13:30	13:10～13:30	13:10～13:30
清掃	13:30～13:45		13:30～13:45	13:30～13:45	13:30～13:45
休み時間	13:50～14:05		13:50～14:05	13:50～14:05	13:50～14:05
6時間目	14:05～14:50	14:05～14:50	14:05～14:50	14:05～14:50	14:05～14:50
7時間目	14:50～15:00	14:15～14:25	14:50～15:00	14:30～14:40	14:30～14:40
8時間目	15:00～15:45	14:25～15:10	15:00～15:45	15:00～15:45	15:00～15:45



運動場

仮設教職員用駐車場【新設・撤去】

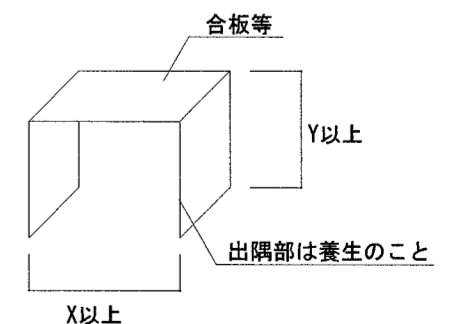
配置図

S=1:600

凡例

- ...改修建物を示す。
- ▨ ...シート養生、砕石敷き(C-40)t=100範囲を示す

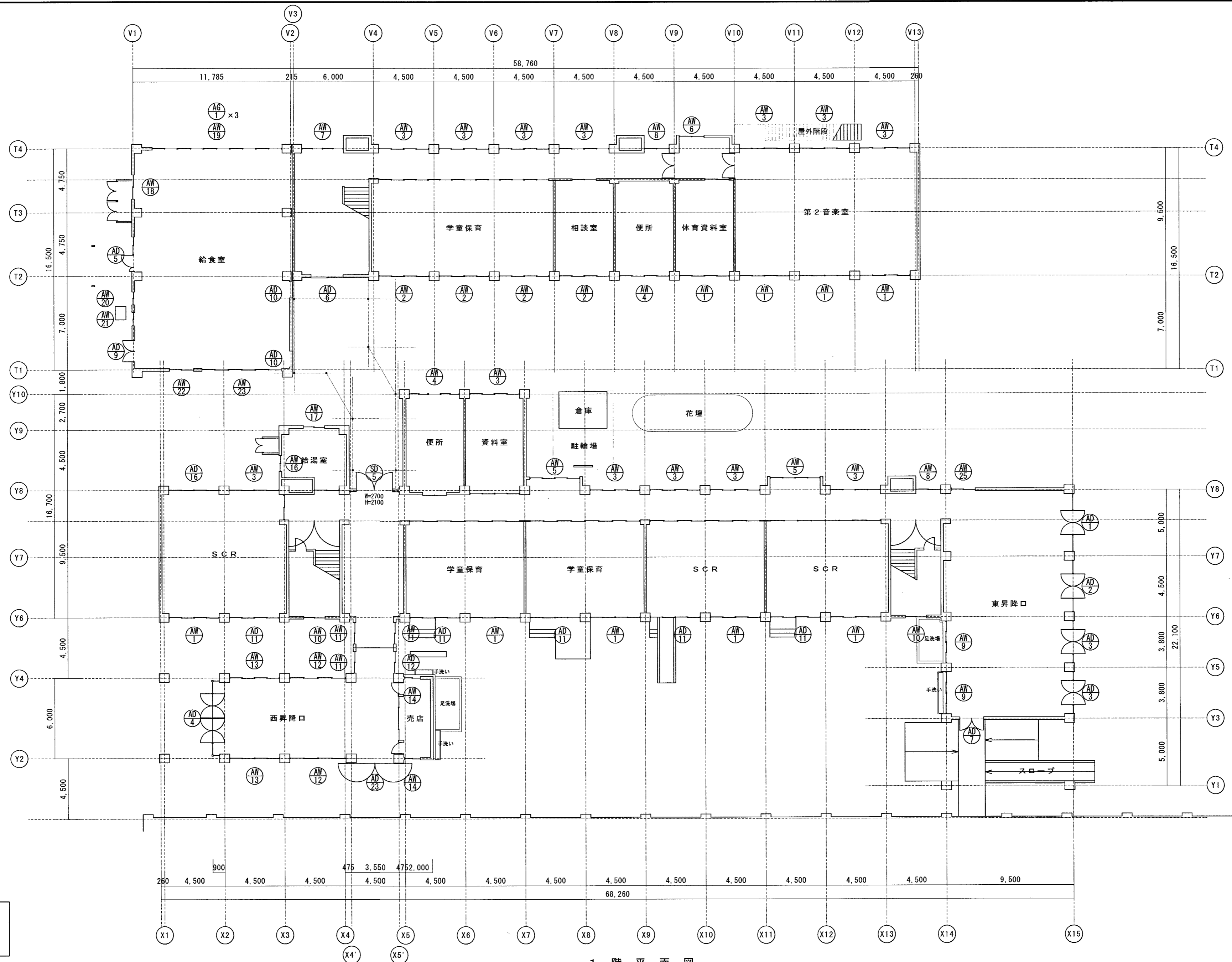
▽ ...利用者が出入りする場所を示す。  
下図のように合板等で三方養生をし、通路を確保すること。



※合板等にて足場及び足場と建物の隙間を三方養生を行うこと。

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	一宮小学校中舎・北舎外壁改修工事				図面番号
係長	課長補佐	課長			A-05
図面名	付近見取図 配置図	縮尺	1:600	作図	令和8年4月

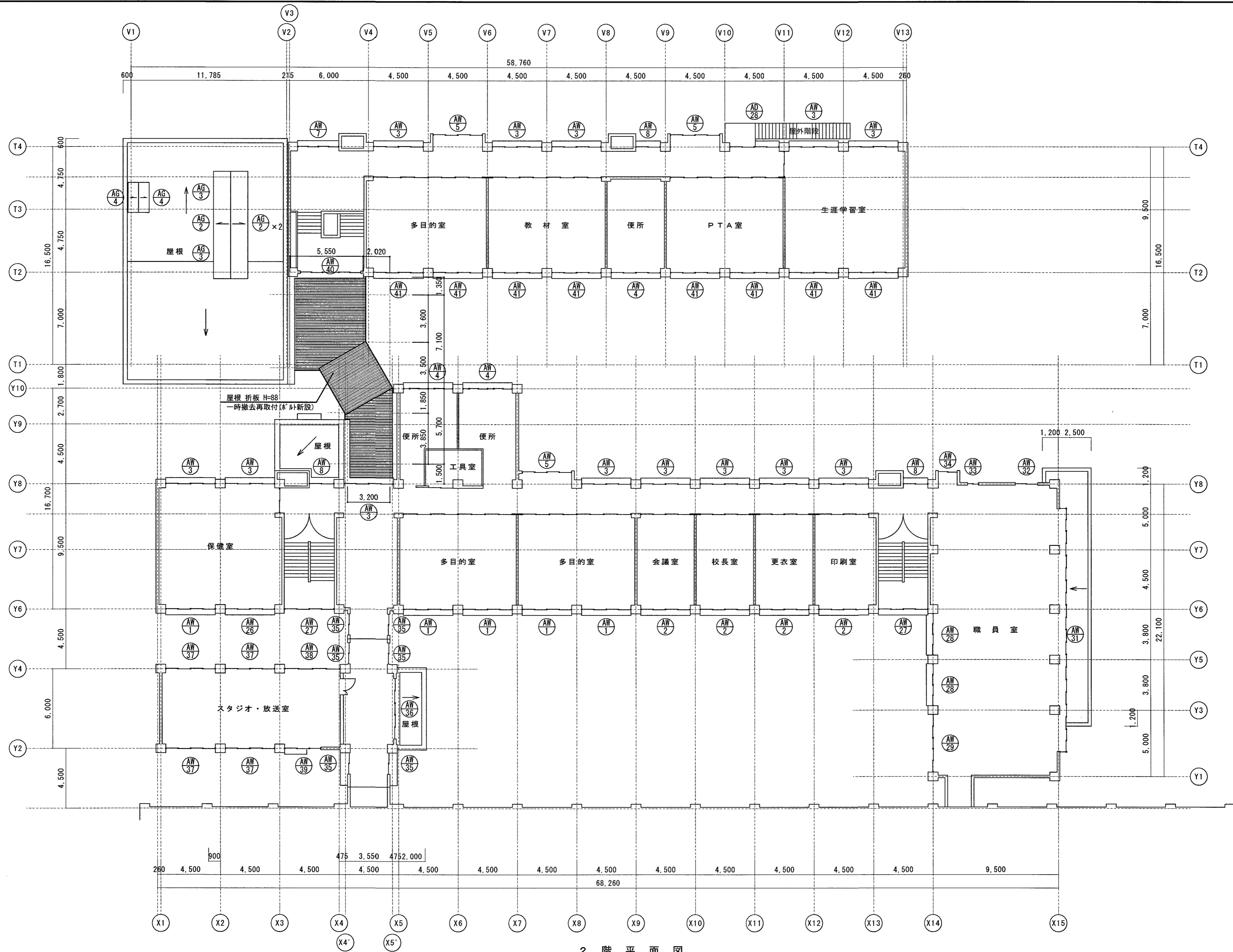


1 階 平 面 図

参考図

高知市 都市建設部 公共建築課

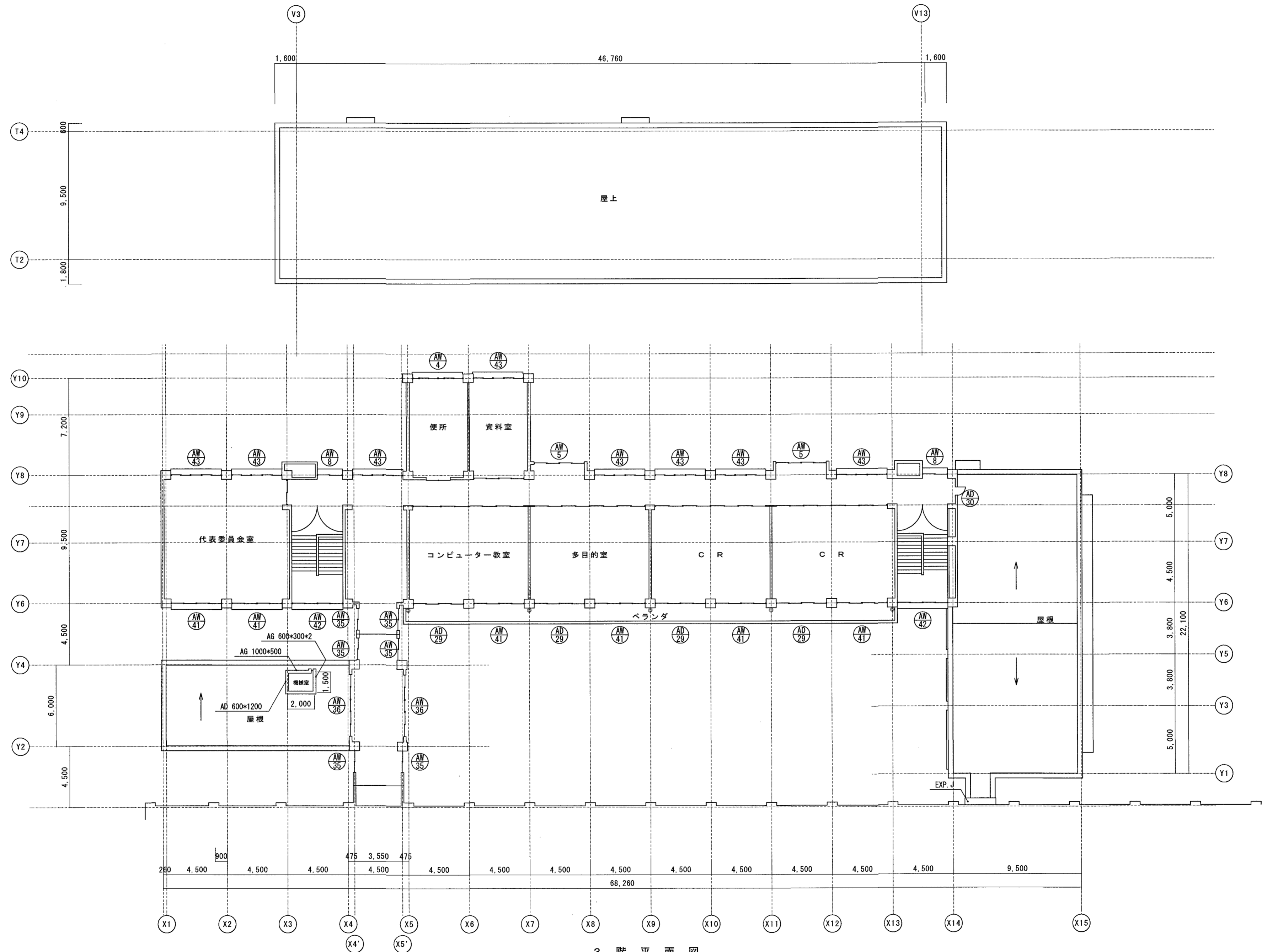
工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
一宮小学校中舎・北舎外壁改修工事					A-06
図面名	縮尺	作図	年	月	日
1階平面図(参考図)	1/200				



2階平面図

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
一宮小学校中舎・北舎外壁改修工事	植見	澤田	大下	濱口	A-07
図面名	縮尺	作図	年	月	日
2階平面図	1/200				

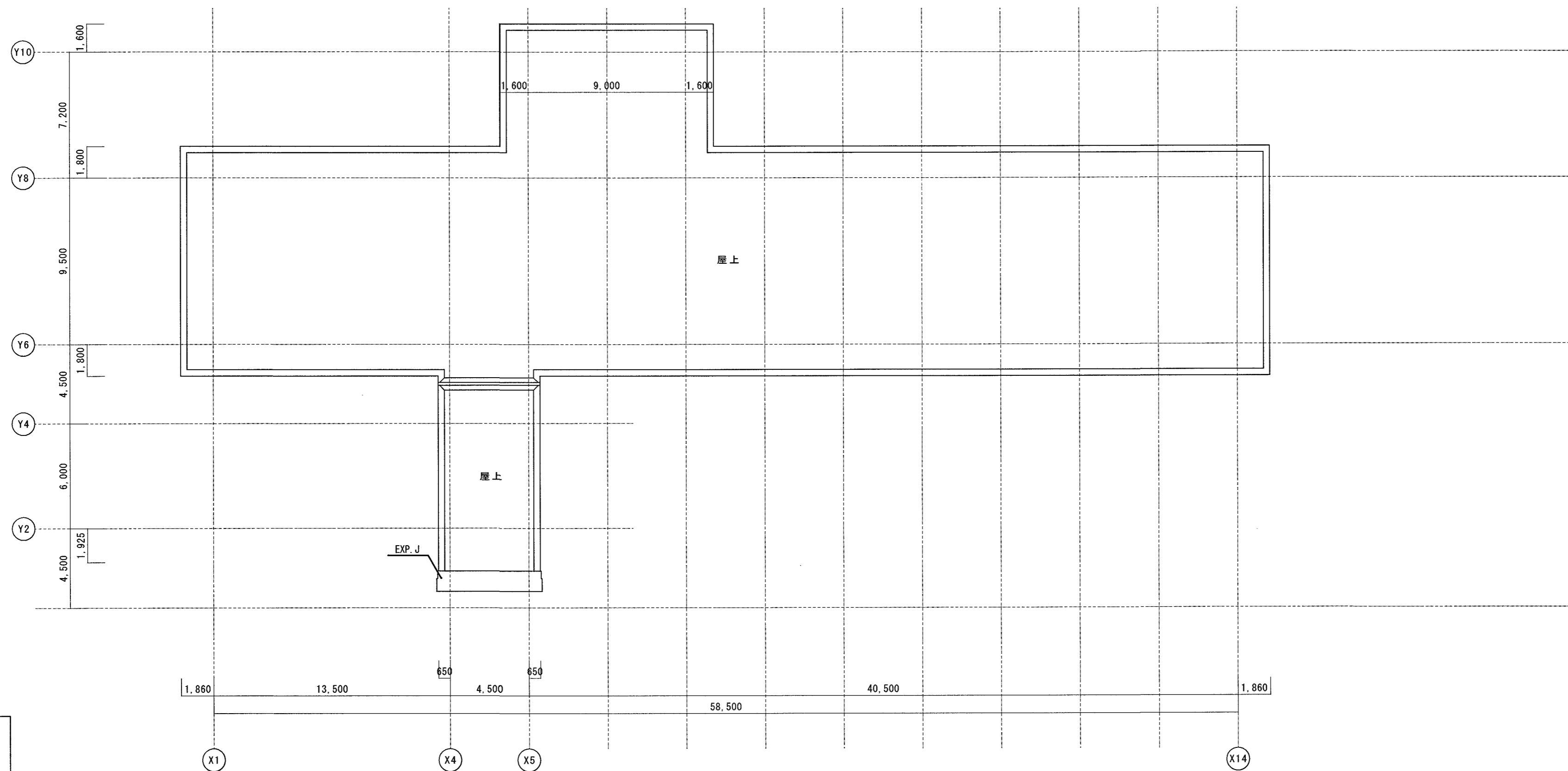


3 階 平 面 図

凡例 ○ 既存中間ドレン防錆処理 (コールタールフリー) を示す

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	一宮小学校中舎・北舎外壁改修工事	係長	大下	課長補佐	濱口	課長	松本	図面番号	A-08
図面名	3階平面図	縮尺	1/200	作図	年	月	日		

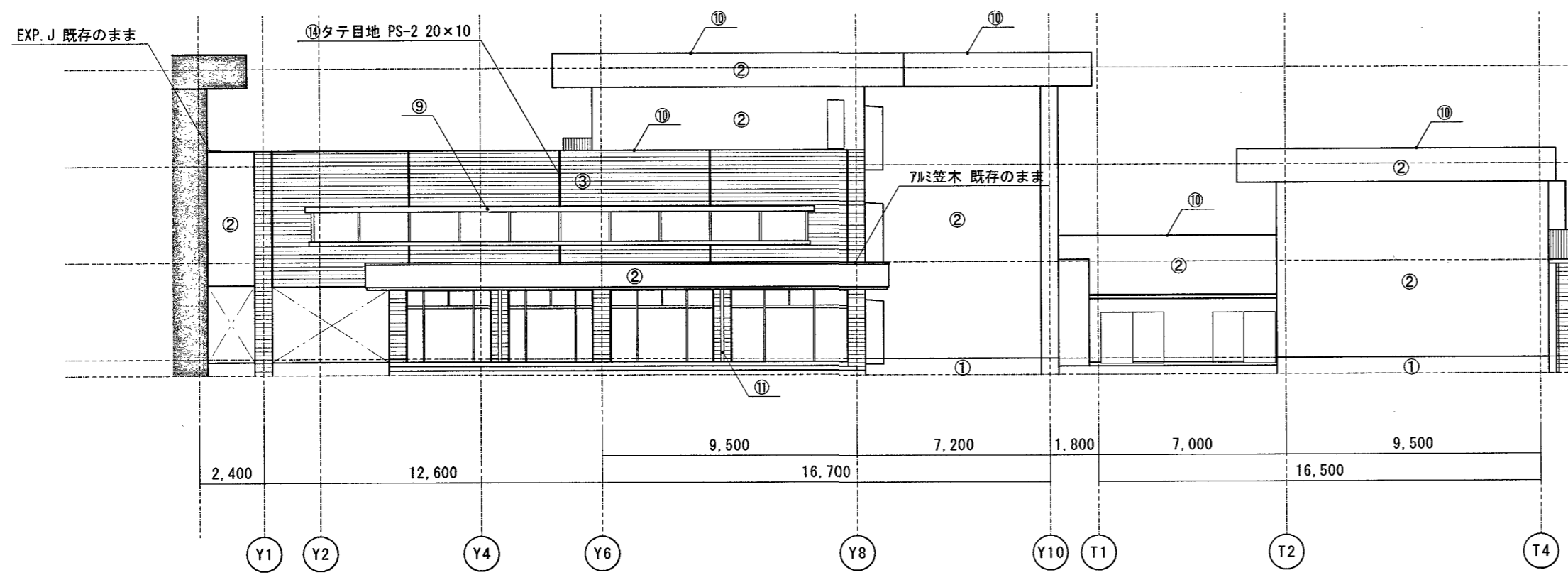


屋根伏図

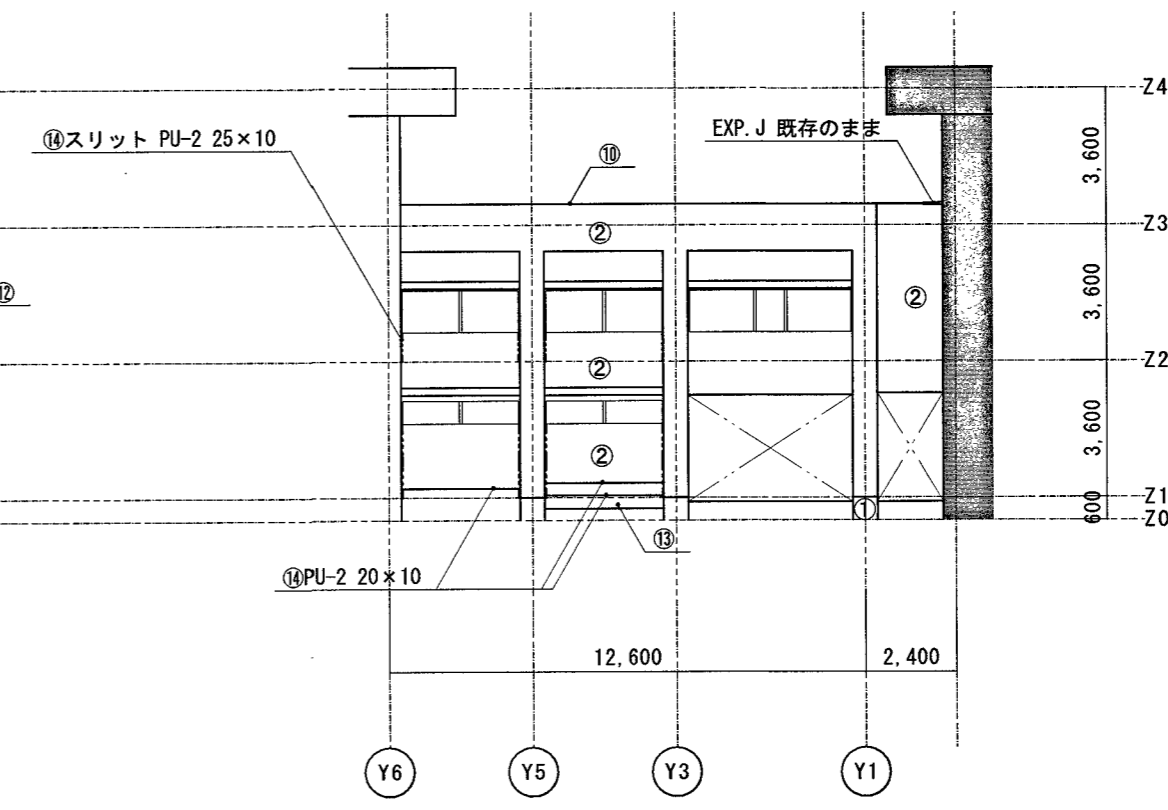
参考図

高知市 都市建設部 公共建築課

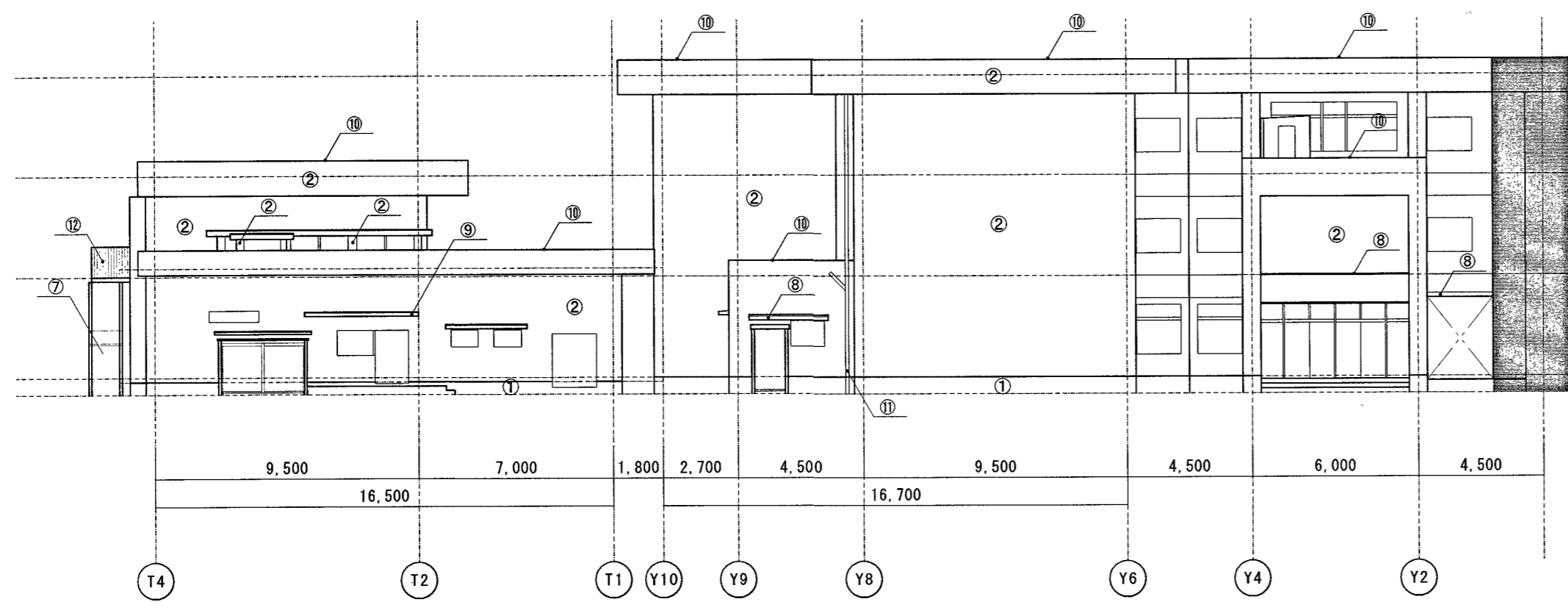
工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
一宮小学校中舎・北舎外壁改修工事					A - 09
図面名	縮尺	作図	年	月	日
屋根伏図(参考図)	1 / 200				



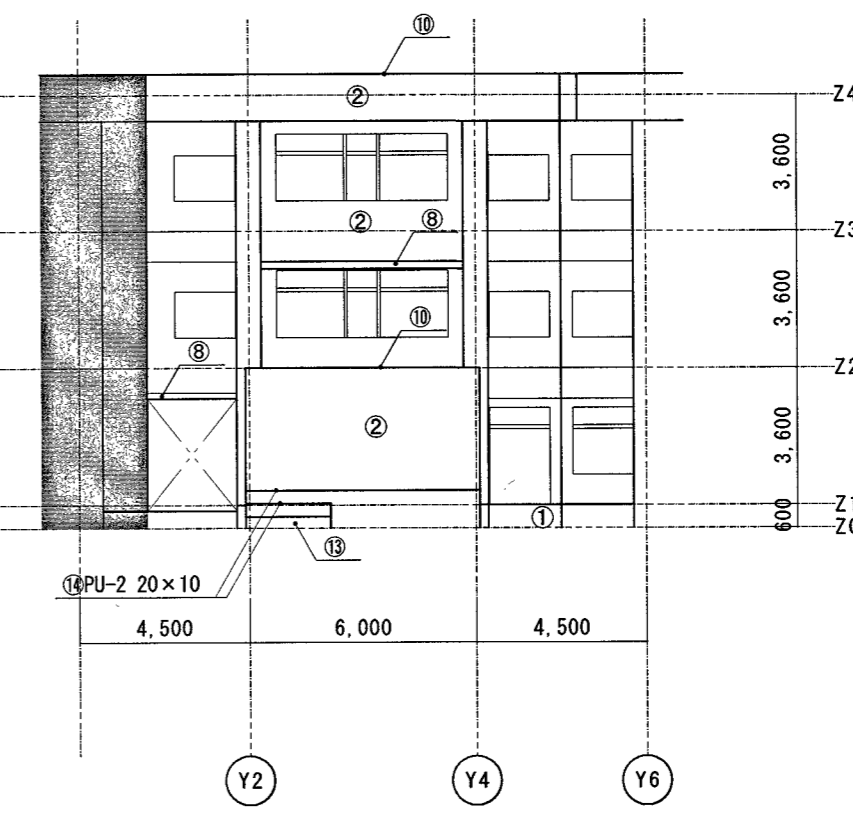
東側立面図 S=1:200



中舎 西側立面図 S=1:200



西側立面図 S=1:200



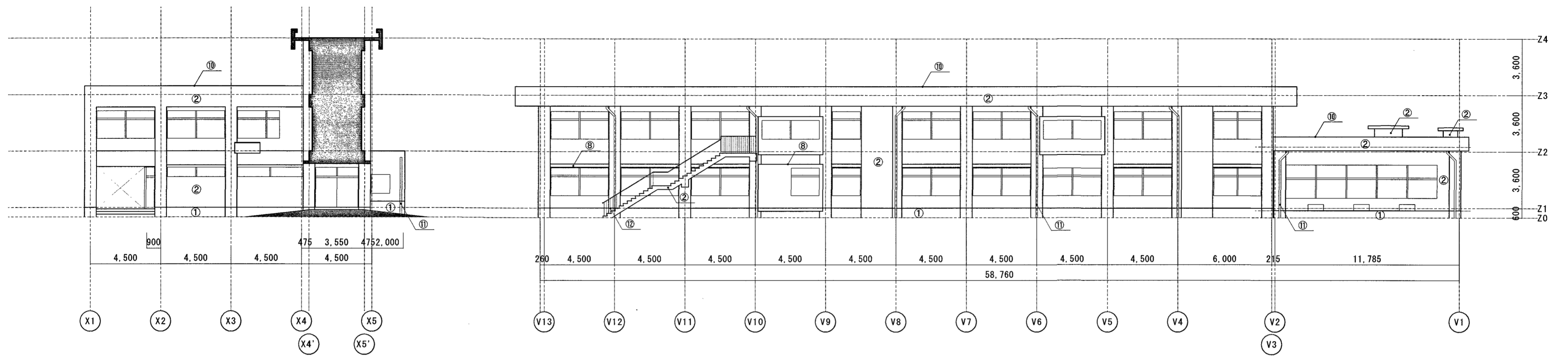
西昇降所棟 東側立面図 S=1:200

外部仕上表		改修前		改修後	
記号	改修前	改修後	記号	改修前	改修後
①	複廻り:モルタル毛引き	水洗い + 劣化改修	⑧	小庇・梁上 防水モルタル塗り	水洗い + 劣化改修
②	外壁・柱・梁:モルタル毛引き下地 7mm 珪藻土吹付	水洗い + 劣化改修 + 複層塗材E吹付	⑨	小庇 防水モルタル塗り	水洗い + 劣化改修 + 高反射率塗料 + 塗膜防水
③	外壁:磁器質三丁掛タイル張り	水洗い + 劣化改修	⑩	パラペット 防水モルタル塗り	先端部切断 + 高反射率塗料 (側面のみ) + 塗膜防水の上 高日射反射率塗料塗り
④	軒天:コンクリート型枠打放し ショウト目地棒 15mm	水洗い + 劣化改修	⑪	縦樋 VP管100φ VP塗り (ステン以支持金物)	撤去 + カラーVP φ100新設
⑤	欠番		⑫	手すり スチール OP塗り	下地調整の上 SOP塗り
⑥	欠番		⑬	手すり モルタル OP張り	水洗い
⑦	底下:コンクリート打放下地 珪藻土吹付	水洗い + 劣化改修 + 外装薄塗材E吹付	⑭	シーリング	打替え 15x10 (スリット 25x10)

※ 劣化改修する部分は、施工数量調査を行うこと。  
 ※ 外壁面既存珪藻土吹付シーリング MS-2(15x10)二重水切り共、撤去・新設とする。

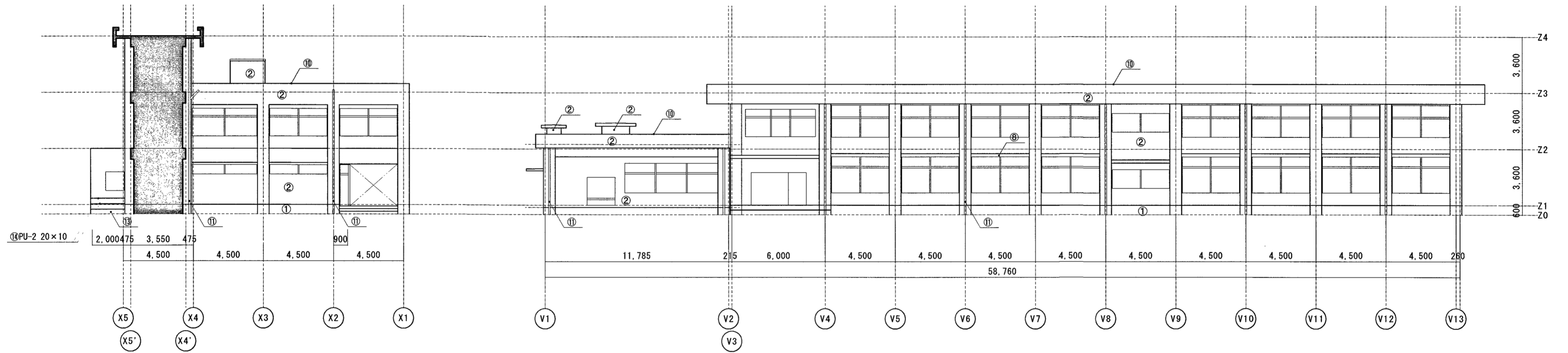
高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	一宮小学校中舎・北舎外壁改修工事	係長	橋本 大	課長補佐	橋本 大	課長	橋本 大	図面番号	A-10
図面名	立面図(1)	縮尺	1/200	作図	橋本 大	年	月	日	



西昇降所棟 南側立面図 S=1:200

北舎 北側立面図 S=1:200



西昇降所棟 北側立面図 S=1:200

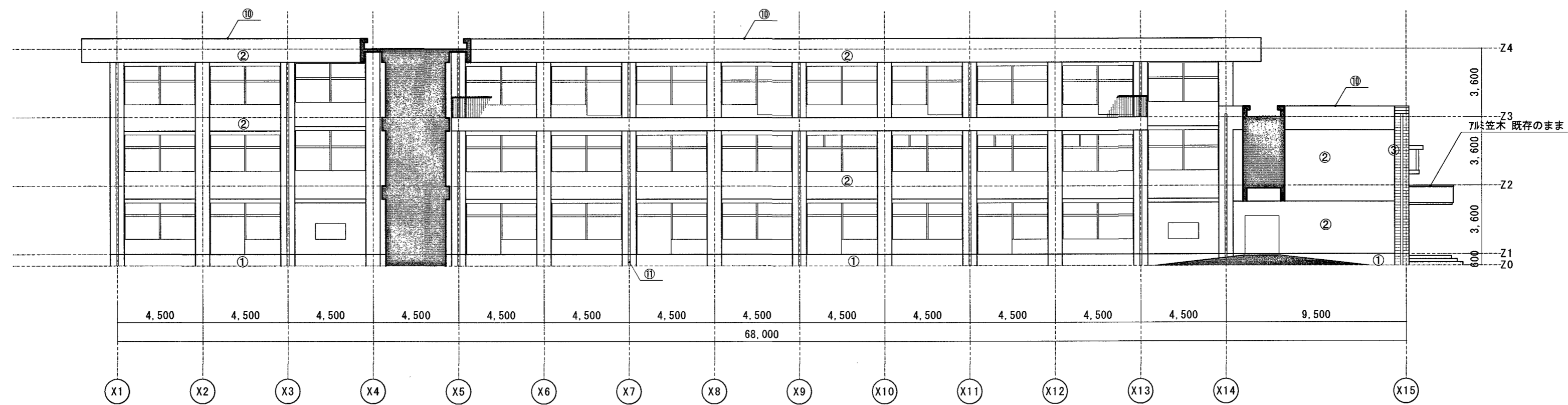
北舎 南側立面図 S=1:200

外部仕上表					
記号	改修前	改修後	記号	改修前	改修後
①	根廻り:モルタル毛引き	水洗い + 劣化改修	⑧	小庇・梁上 防水モルタル塗り	水洗い + 劣化改修
②	外壁・柱・梁:モルタル毛引き下地 フクリン吹付	水洗い + 劣化改修 + 複層塗材E吹付	⑨	小庇 防水モルタル塗り	水洗い + 劣化改修 + ポリセメントペ-スト塗り + 塗膜防水
③	外壁:磁器質三丁掛り張り	水洗い + 劣化改修	⑩	パラペット 防水モルタル塗り	先端部切断 + ポリセメントペ-スト塗り(側面のみ) + 塗膜防水の上 高日射反射率塗料塗り
④	軒天:コンクリート型枠打放し ショット目地棒 15mm	水洗い + 劣化改修	⑪	壁樋 VP管100φ VP塗り(スチール支持金物)	撤去 + カラーVP φ100新設
⑤	欠番		⑫	手すり スチール OP塗り	下地調整の上 SOP塗り
⑥	欠番		⑬	手洗い モルタル張り	水洗い
⑦	庇下:コンクリート打放下地 フクリン吹付	水洗い + 劣化改修 + 外装薄塗材E吹付	⑭	シーリング	打替え 15×10 (スリット 25×10)

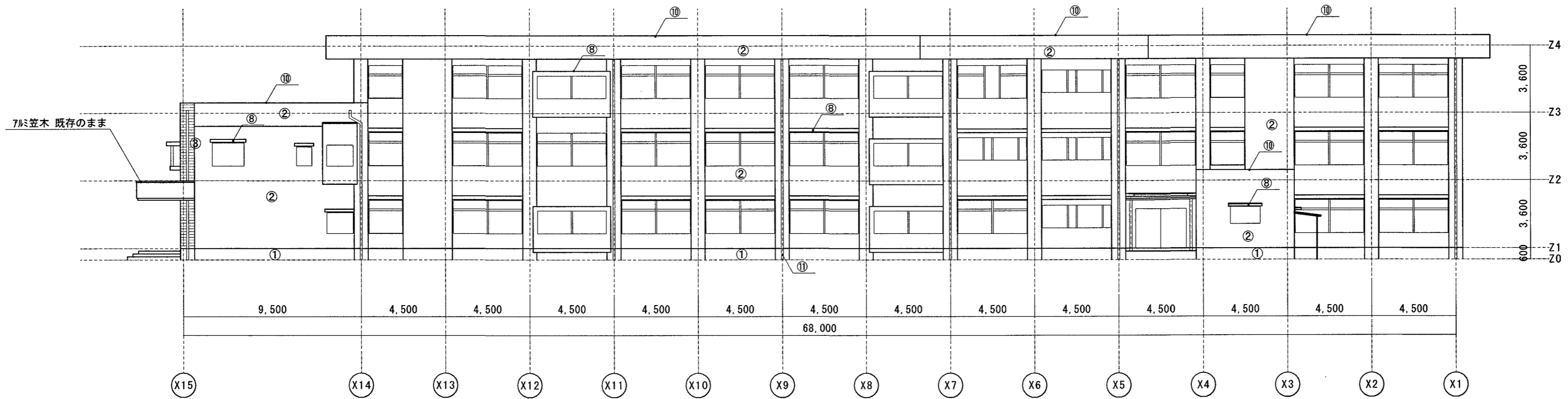
※ 劣化改修する部分は、施工数量調査を行うこと。  
 ※ 外壁面既存フクリン張りシーリング MS-2(15×10)二重水切り共、撤去・新設とする。

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
一宮小学校中舎・北舎外壁改修工事	箱見	澤田	大下	濱口	A-11
図面名	縮尺	作図	年	月	日
立面図(2)	1/200				



中舎 南側立面図 S=1:200



中舎 北側立面図 S=1:200

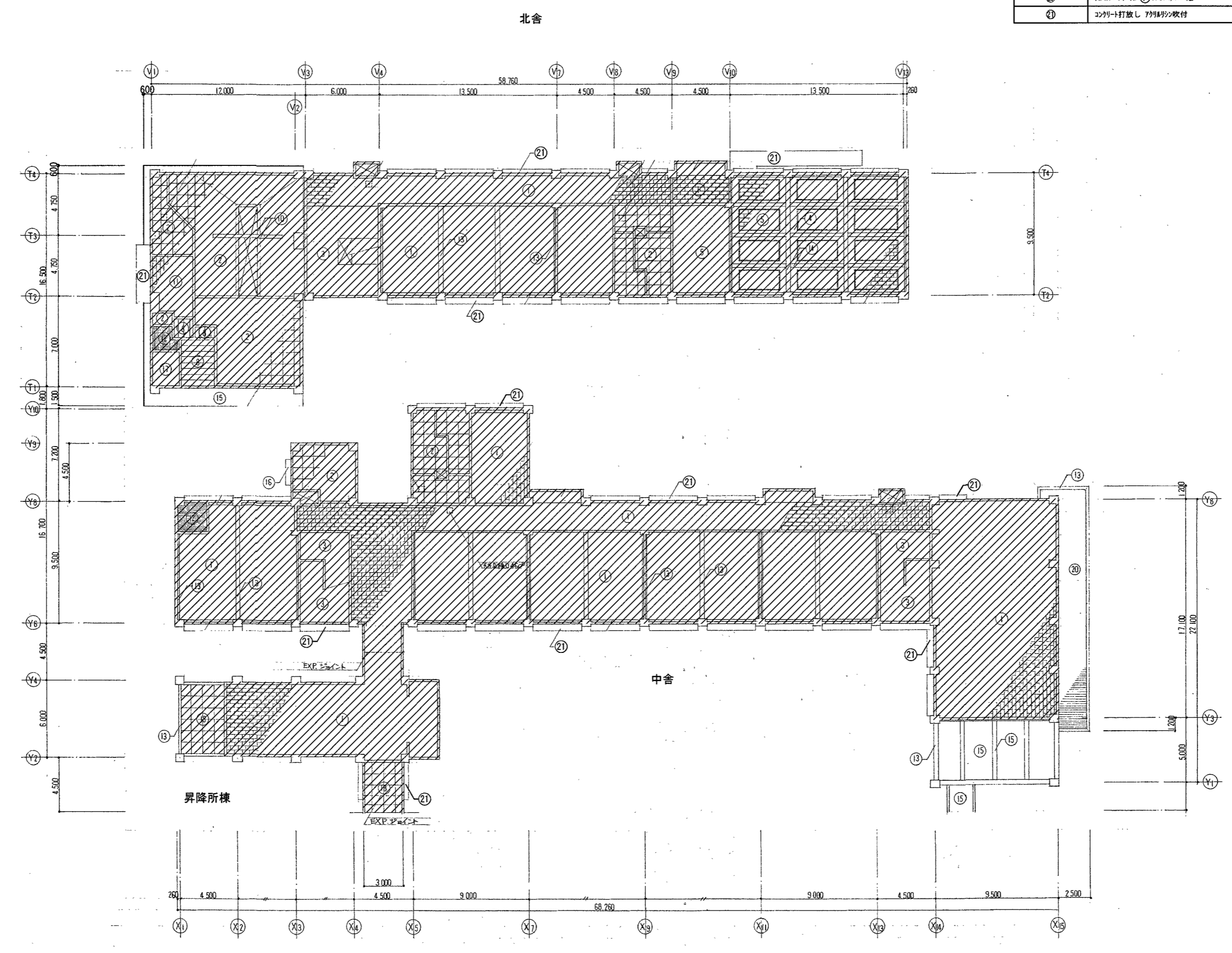
外部仕上表		改修前		改修後	
記号	改修前	改修後	記号	改修前	改修後
①	根廻り：モルタル刷毛引き	水洗い + 劣化改修	⑧	小庇・梁上 防水モルタル塗り	水洗い + 劣化改修
②	外壁・柱・梁：モルタル刷毛引き下地 7mm 笠木吹付	水洗い + 劣化改修 + 複層塗材E吹付	⑨	小庇 防水モルタル塗り	水洗い + 劣化改修 + 珪酸セメントペースト塗り + 塗膜防水
③	外壁：磁器質三丁掛タイル張り	水洗い + 劣化改修	⑩	パラペット 防水モルタル塗り	先端部切断 + 珪酸セメントペースト塗り(側面のみ) + 塗膜防水の上 高日射反射率塗料塗り
④	軒天：コンクリート型枠打放し ジョイント目地棒 15mm	水洗い + 劣化改修	⑪	縦樋 VP管100φ VP塗り(スチール支持金物)	撤去 + カラーVP φ100新設
⑤	欠番		⑫	手すり スチール OP塗り	下地調整の上 SOP塗り
⑥	欠番		⑬	手洗い モザイクタイル張り	水洗い
⑦	底下：コンクリート打放下地 7mm 笠木吹付	水洗い + 劣化改修 + 外装薄塗材E吹付	⑭	シーリング	打替え 15×10 (タクト 25×10)

※ 劣化改修する部分は、施工数量調査を行うこと。  
 ※ 外壁面既存タイル廻りシーリング MS-2(15×10)二重水切り共、撤去・新設とする。

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係長	課長補佐	課長	図面番号
一宮小学校中舎・北舎外壁改修工事	橋見	澤田	大下	A-12
図面名 立面図(3)	縮尺 1/200	作図	年 月 日	

	改修前	改修後
⑬	コンクリート打放し 7994979吹付	水洗い・劣化改修・撥水塗材E吹付
⑭	コンクリート型枠打放し 型枠3分目地権15mm入	水洗い・劣化改修
⑮	鉄筋網電引 7994979吹付	水洗い・劣化改修・外装薄塗材E吹付
⑯	7994979吹付 0.8m/m 貼	既存のまま
⑰	コンクリート打放し 7994979吹付	水洗い・劣化改修・外装薄塗材E吹付



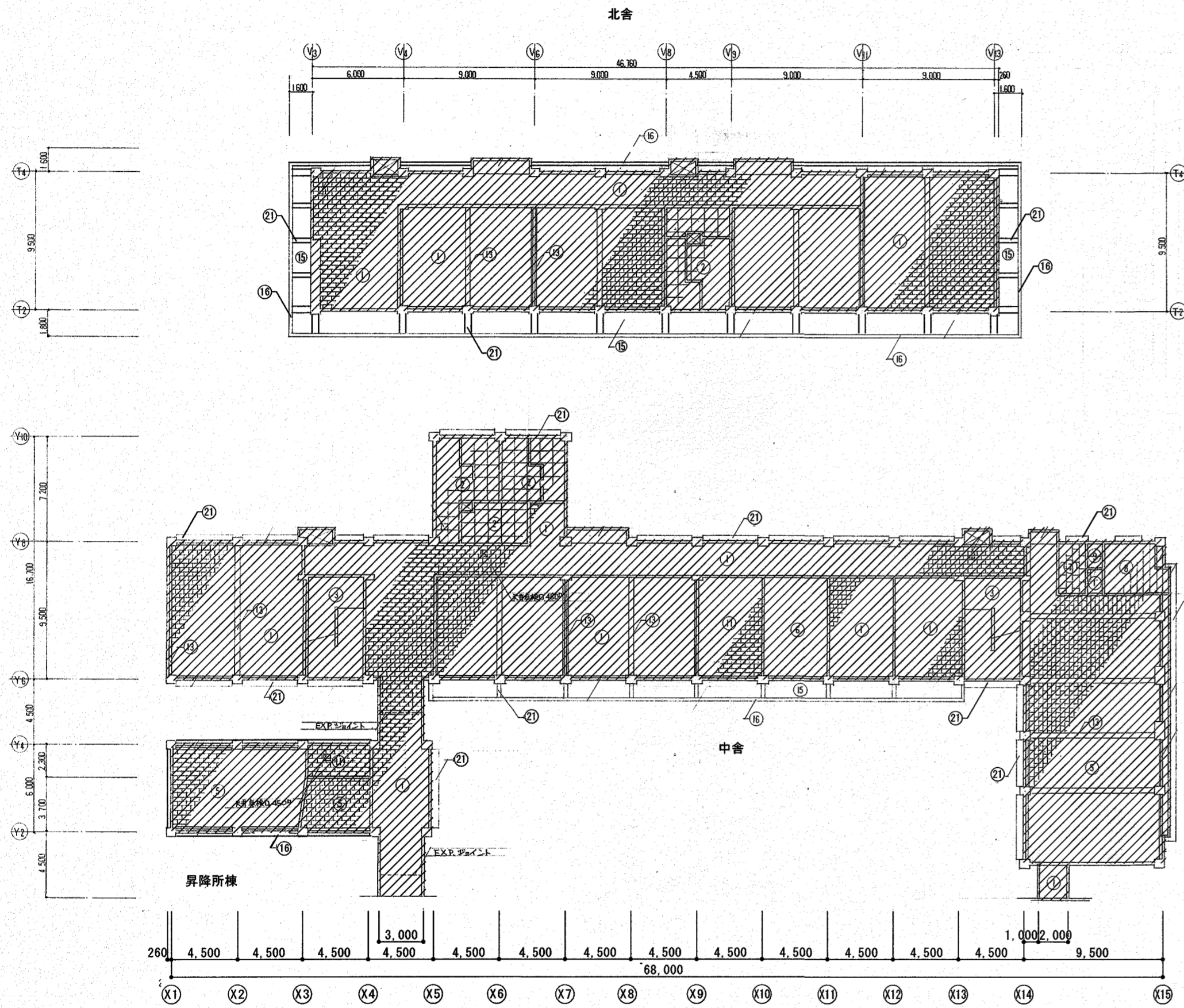
1階天井伏図 S=1:300

※ 劣化改修する部分は、施工数量調査を行うこと。

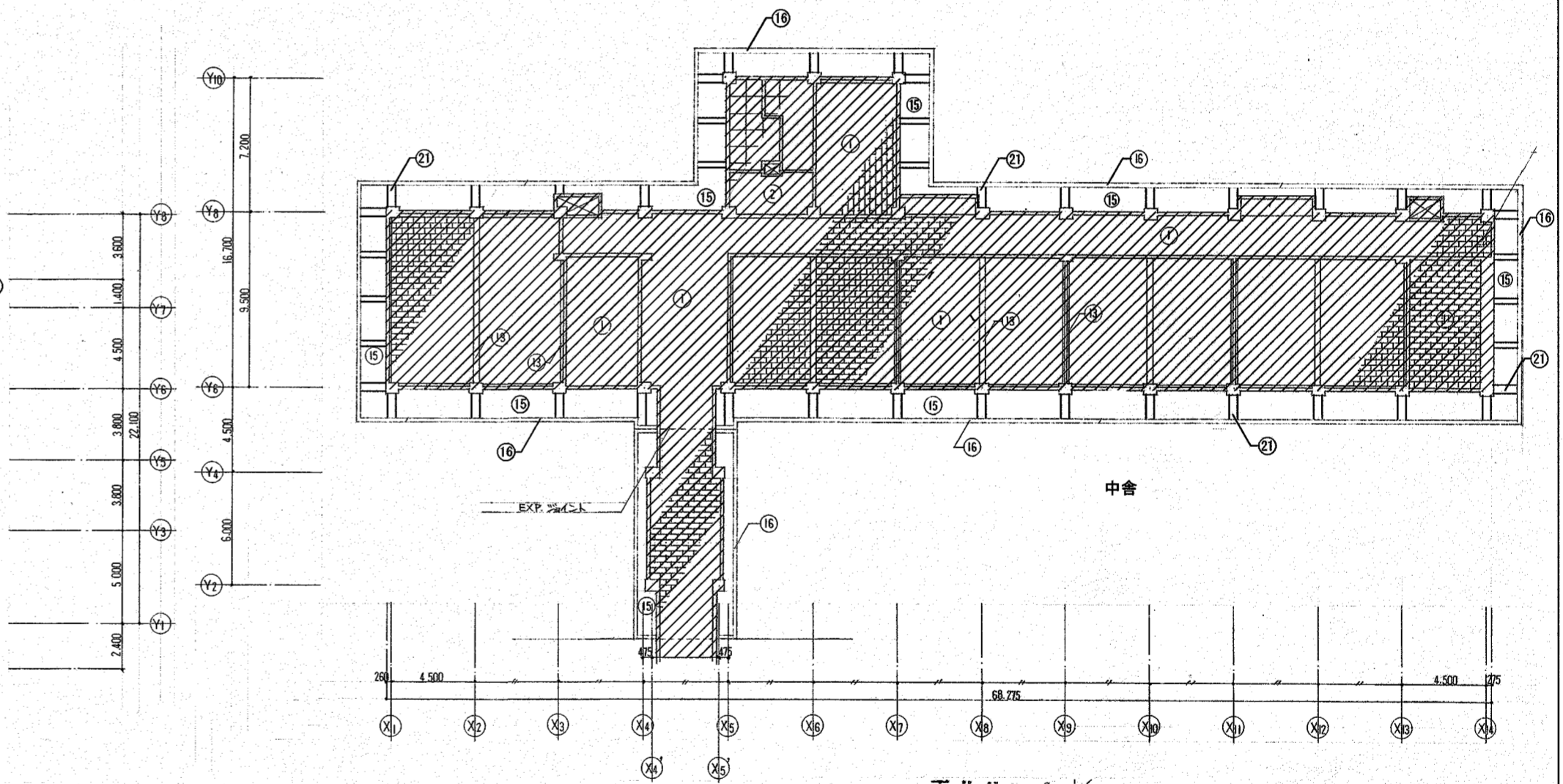
高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	一宮小学校中舎・北舎外壁改修工事	係長	松本	課長補佐	澤口	課長	松本	図面番号	A-13
図面名	1階天井伏図	縮尺	1:300	作図	令和8年4月	日			

	改修前	改修後
⑬	3ヶ所打放し 799形吹付	水洗い + 劣化改修 + 複層塗材E吹付
⑭	3ヶ所打放し 799形吹付 聖神2x(2)部目地棒15mm入	水洗い + 劣化改修
⑮	799形吹付 799形吹付	水洗い + 劣化改修 + 外装薄塗材E吹付
⑯	799形吹付 799形吹付 0.8m/m 貼	既存のまま
⑰	3ヶ所打放し 799形吹付	水洗い + 劣化改修 + 外装薄塗材E吹付



2階天井伏図 S=1:300



3階天井伏図 S=1:300

※ 劣化改修する部分は、施工数量調査を行うこと。

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名

一宮小学校中舎・北舎外壁改修工事

図面名

2階天井伏図・3階天井伏図

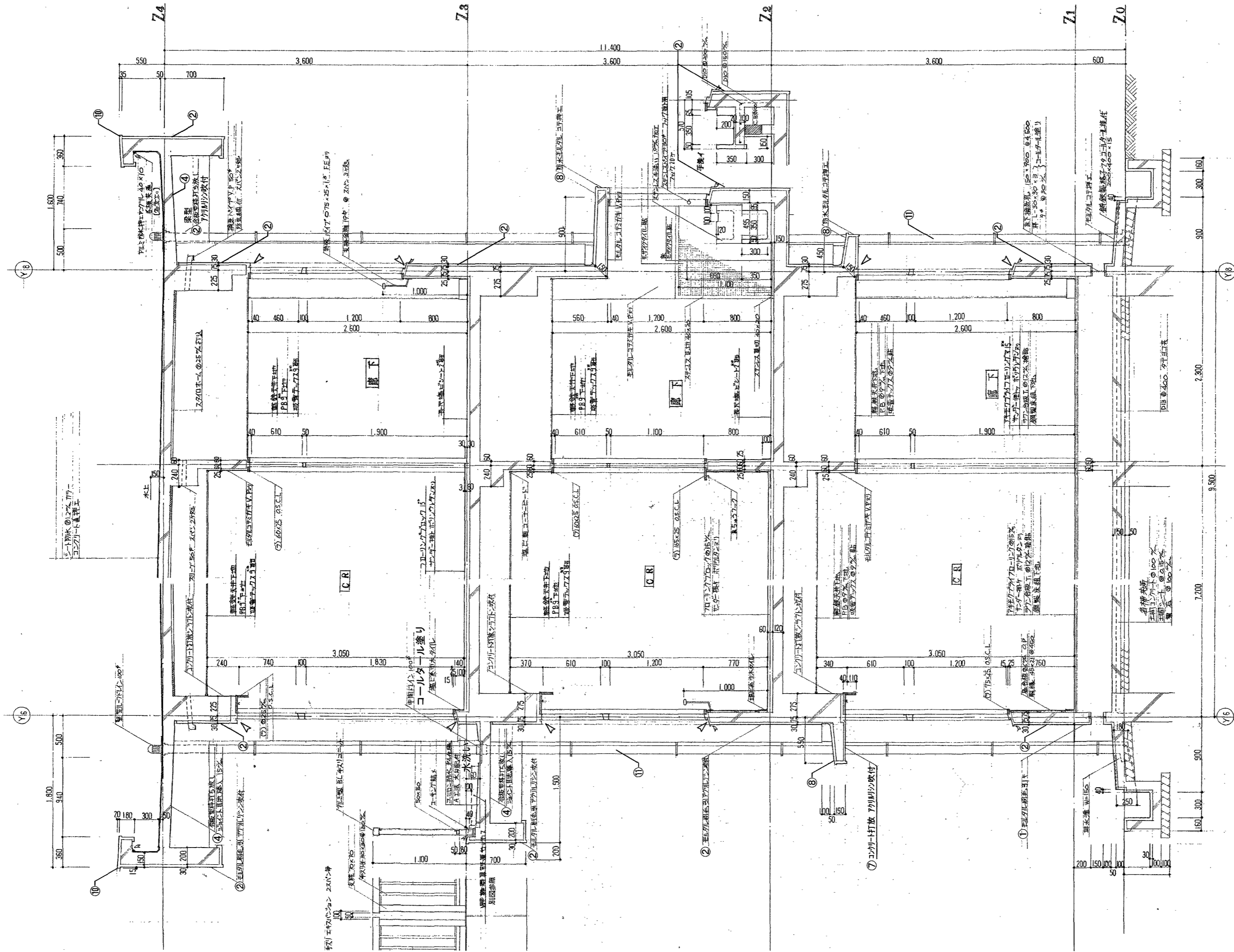
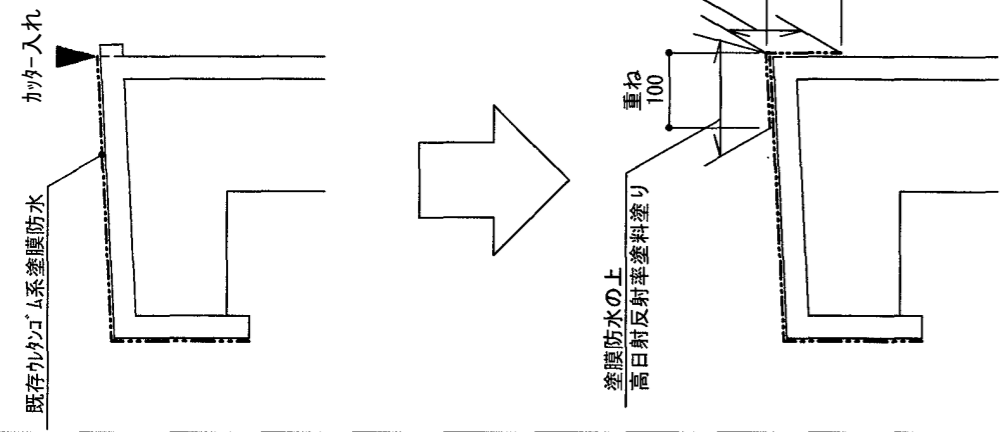
縮尺 1:300

係長 課長補佐 課長 図面番号

相見 澤 大下 濱口 松本 A-14

作図 令和 8年 4月 日

⑩部分詳細図



中舎矩計図 S=1:40

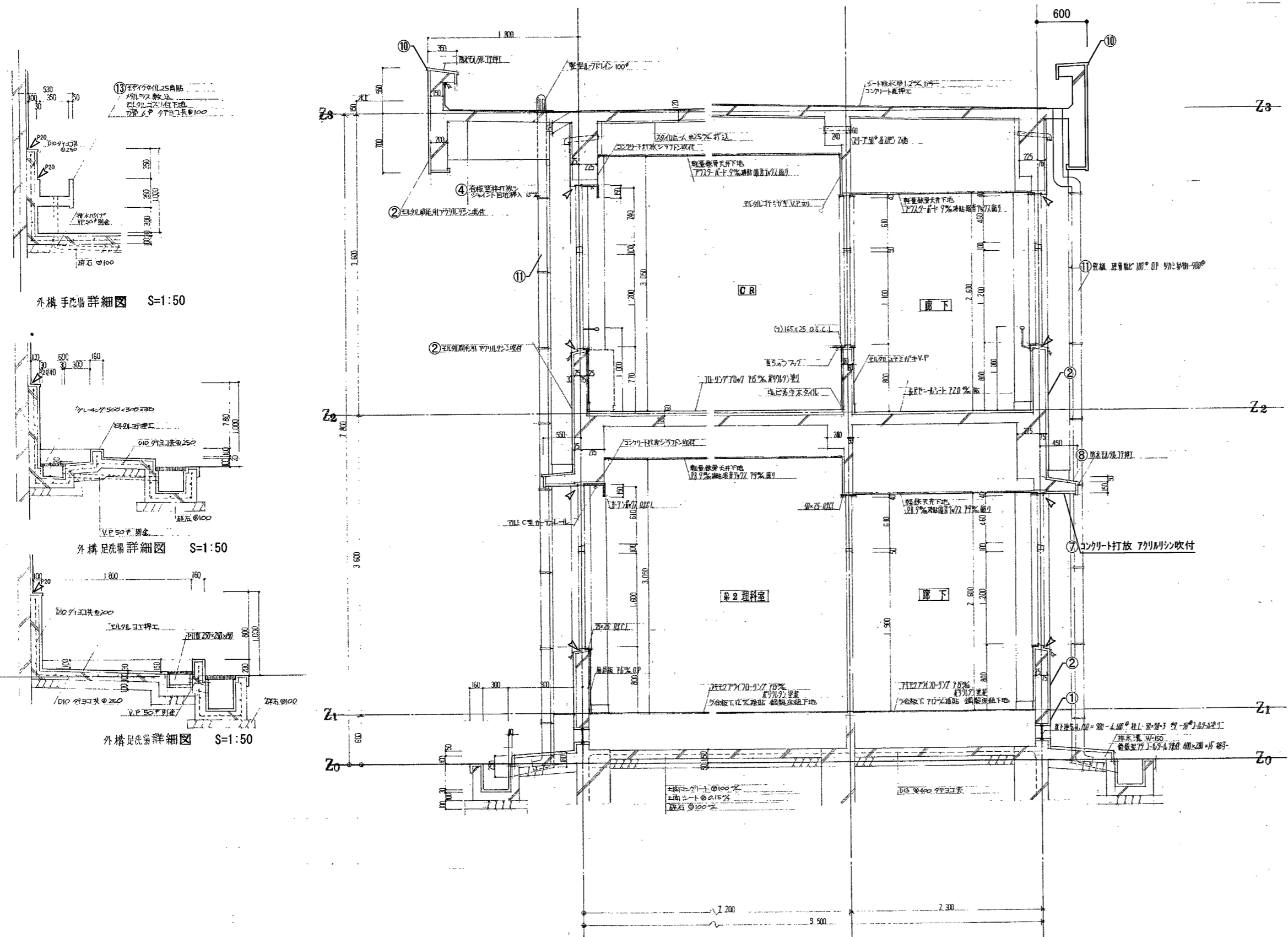
※ 劣化改修する部分は、施工数量調査を行うこと。  
 ※ 外壁面既存サッシ廻りシーリング MS-2(15×10)二重水切り共、撤去・新設とする。

高知市 都市建設部 公共建築課

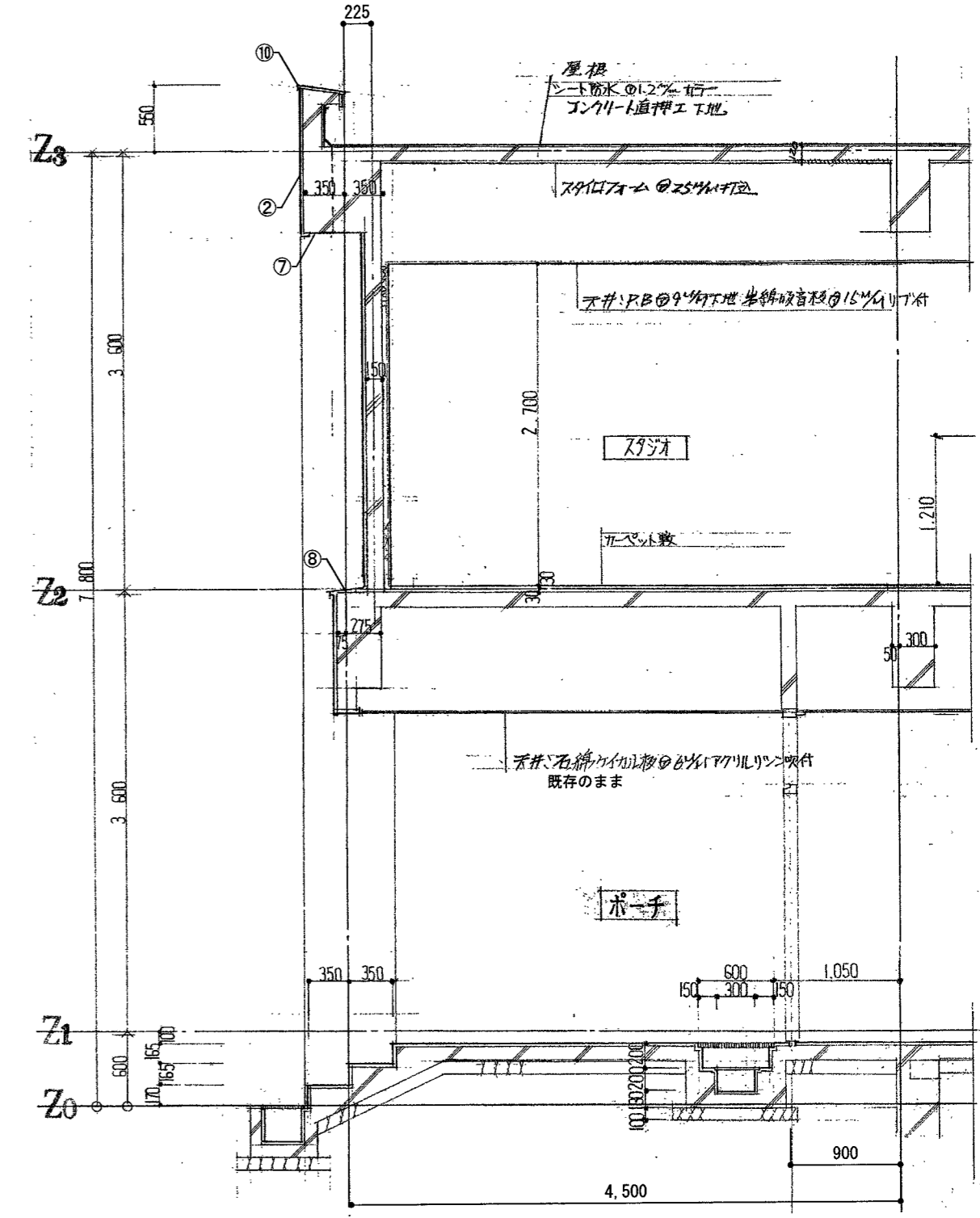
工事名 一宮小学校中舎・北舎外壁改修工事  
 係 係長 課長補佐 課長 図面番号

縮尺 図示 作図 令和 8年 4月 日

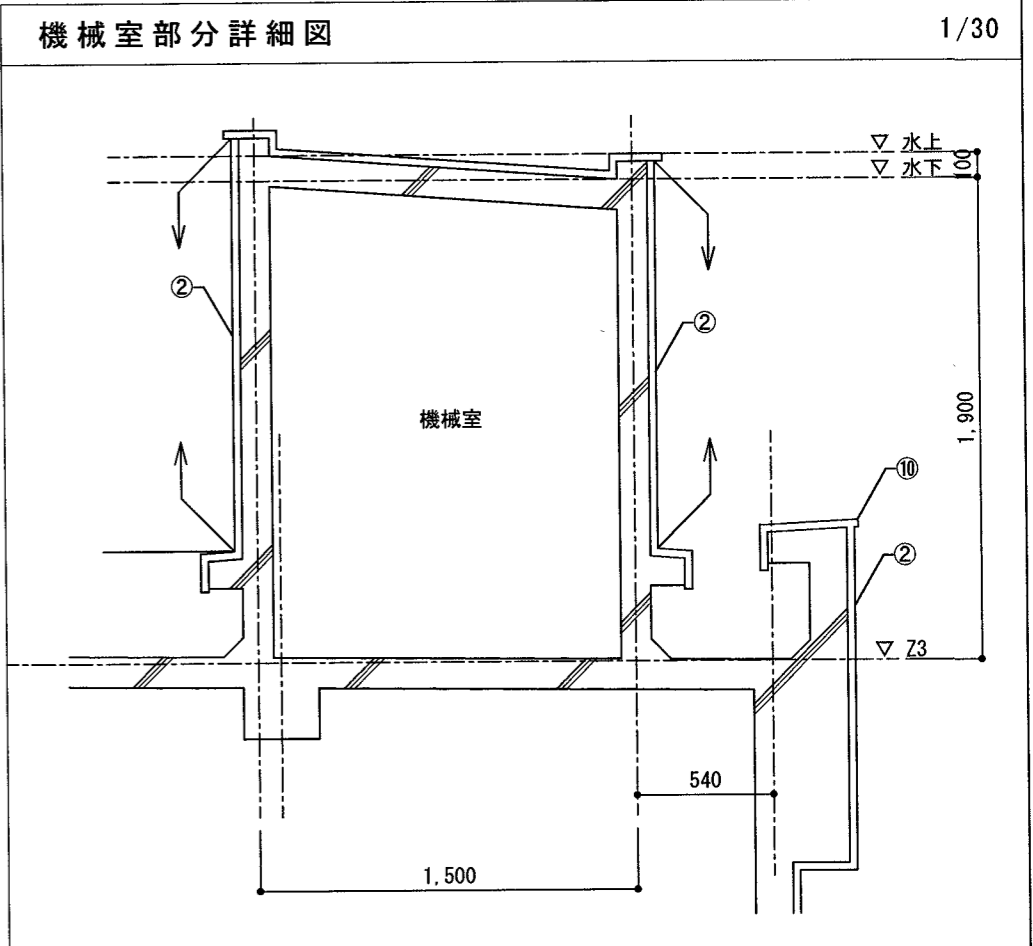
外部仕上表	改修前	改修後	改修前	改修後
①	根廻り：サッシ廻り毛引き	水洗い + 劣化改修	⑧	小庇・梁上 防水材外塗り
②	外壁・柱・梁：サッシ廻り毛引き下地 7/100シ吹付	水洗い + 劣化改修 + 権層塗材E吹付	⑨	小庇 防水材外塗り
③	外壁：磁器質三丁掛付体張り	水洗い + 劣化改修	⑩	バルコニー 防水材外塗り
④	軒天：コウキ-型枠打放し 15mm	水洗い + 劣化改修	⑪	壁面 VP管100φ VP塗り (SP100支持金物)
⑤	欠番		⑫	手すり スチール OP塗り
⑥	欠番		⑬	手洗い 樹脂付体張り
⑦	庇下：コウキ-打放し下地 7/100シ吹付	水洗い + 劣化改修 + 外装珪藻土E吹付	⑭	タイル



北舎 矩計図 S=1:50



西昇降所 棟矩計図 S=1:50



機械室部分詳細図

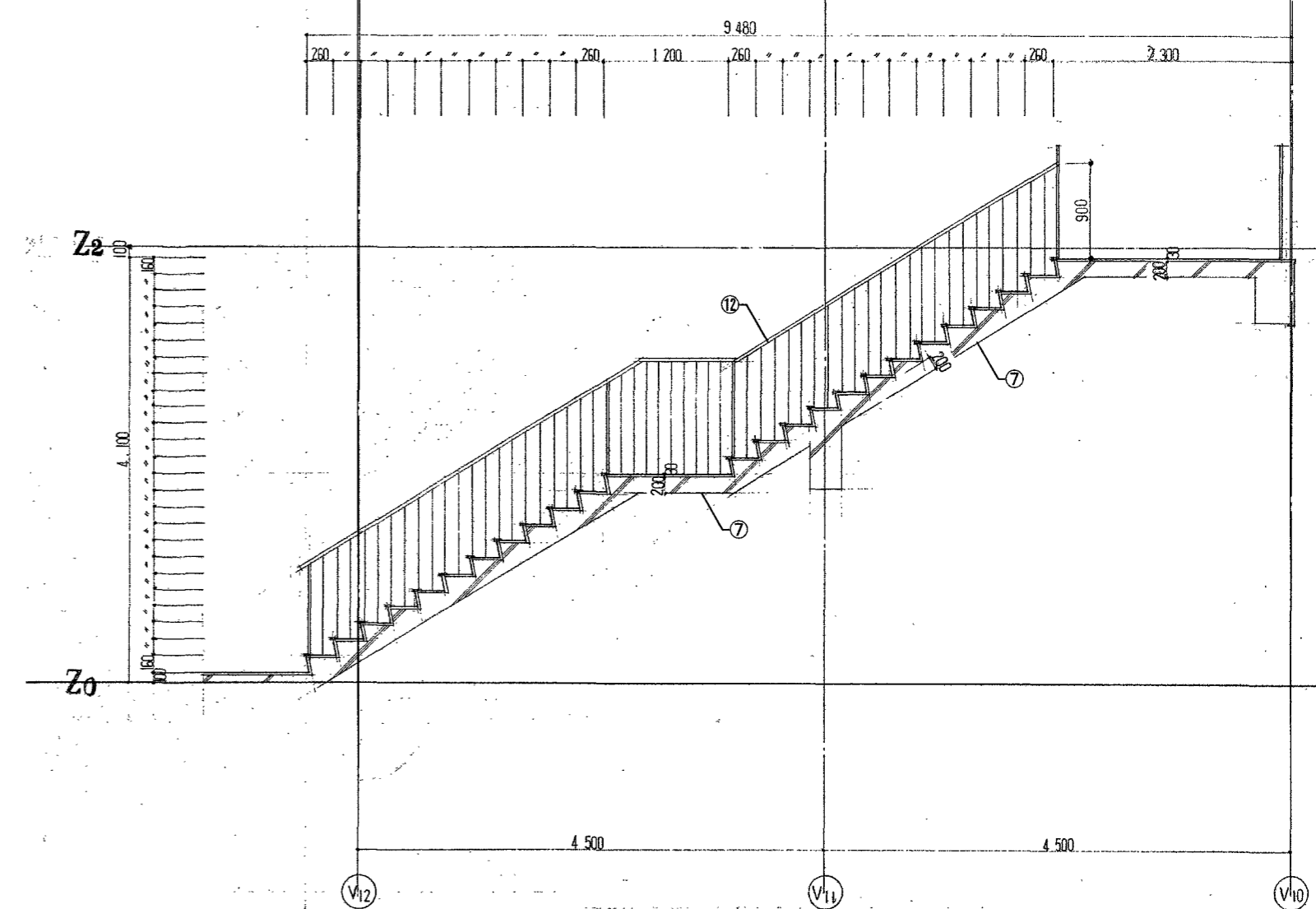
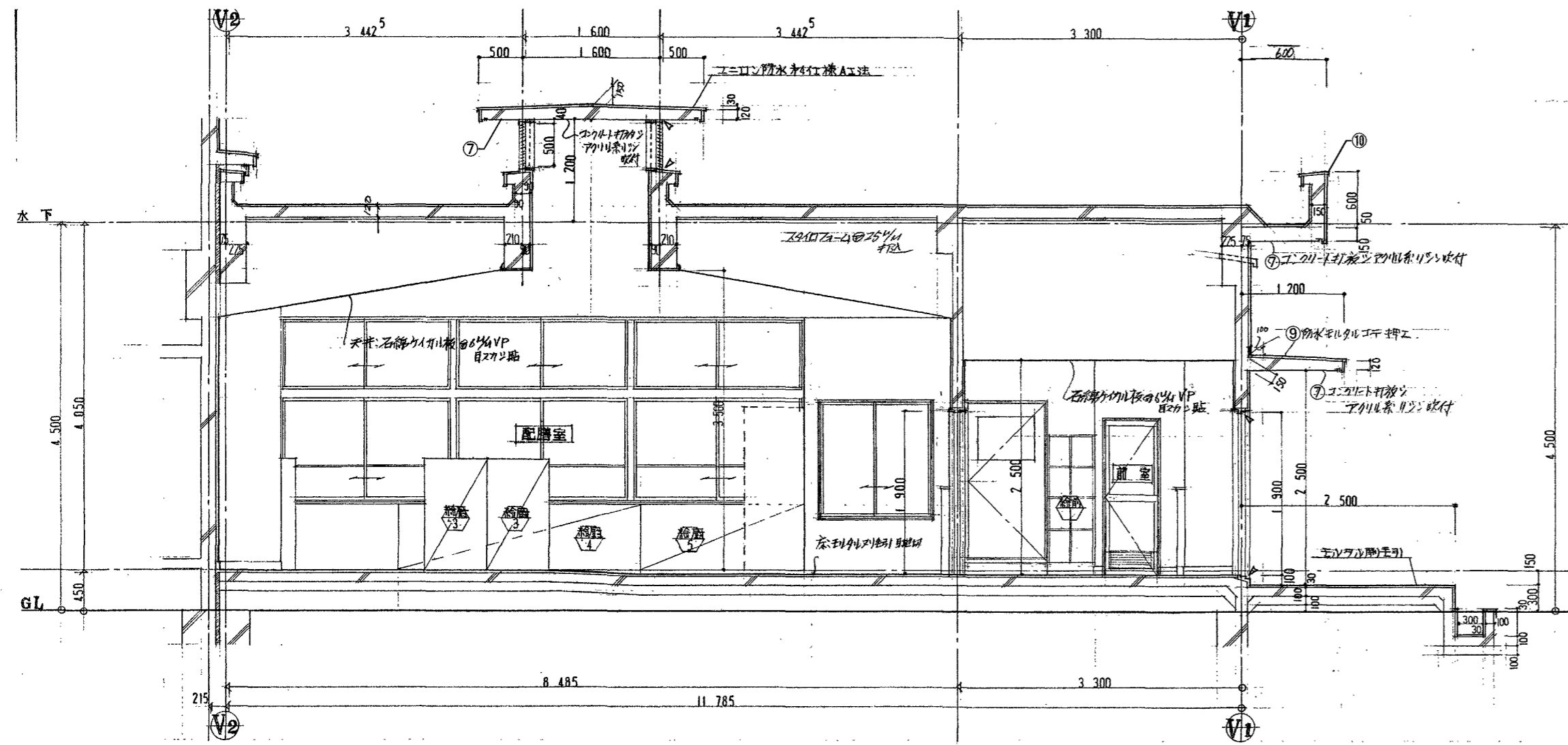
1/30

外部仕上表		改修前		改修後	
記号	改修前	記号	改修前	記号	改修後
①	根廻り：モルタル引き	⑧	小庇・梁上 防水モルタル塗り	⑧	水洗い + 劣化改修
②	外壁・柱・梁：モルタル引き下地 7mm吹付	⑨	小庇 防水モルタル塗り	⑨	水洗い + 劣化改修 + 複層塗材E吹付
③	外壁：磁器質三丁掛タイル張り	⑩	バテック 防水モルタル塗り	⑩	水洗い + 劣化改修
④	軒天：コンクリート型枠打放し ジョイント目地棒 15mm	⑪	縦樋 VP管100φ VP塗り (ステン以支持金物)	⑪	水洗い + 劣化改修
⑤	欠番	⑫	手すり スチール OP塗り	⑫	撤去 + カラーVP φ100新設
⑥	欠番	⑬	手すり モザイクタイル張り	⑬	撤去 + カラーVP φ100新設
⑦	庇下：コンクリート打放し下地 7mm吹付	⑭	シリング	⑭	撤去 + カラーVP φ100新設

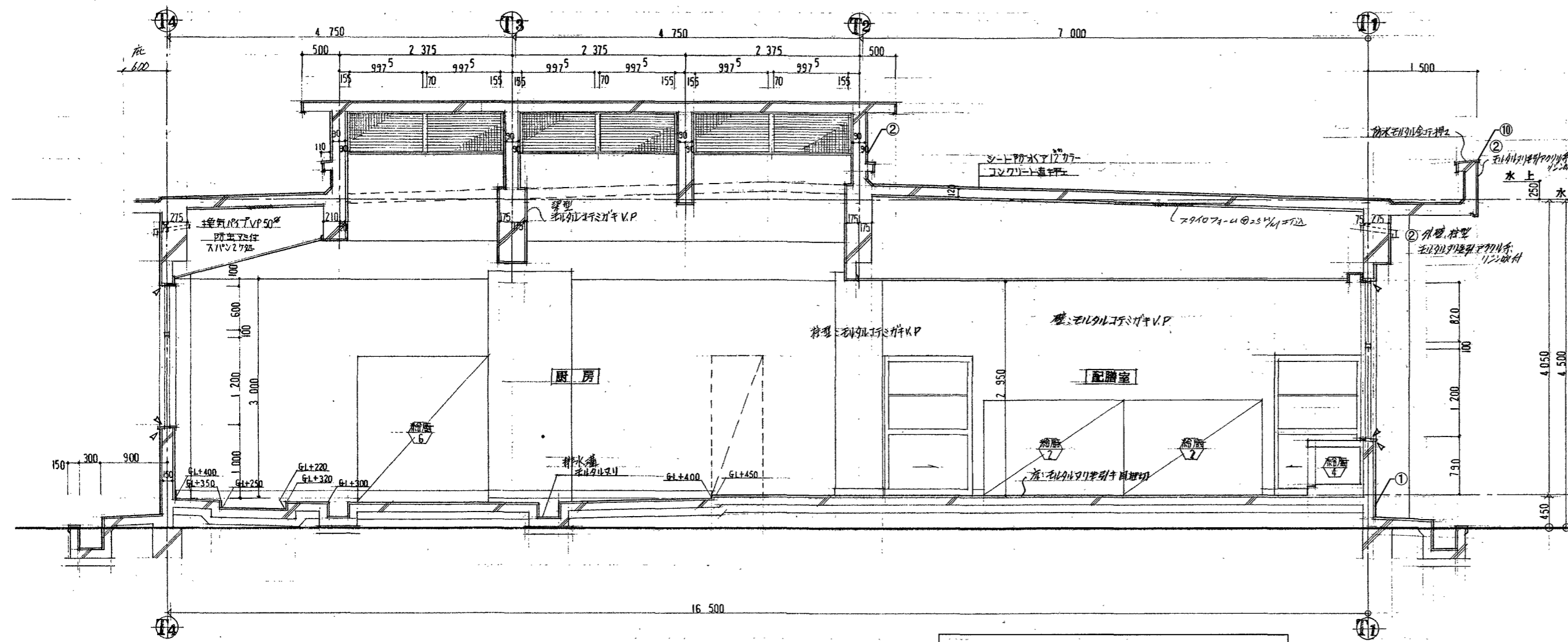
※ 劣化改修する部分は、施工数量調査を行うこと。  
 ※ 外壁面既存タイルシリング MS-2(15×10)二重水切り共、撤去・新設とする。

高知市 都市建設部 公共建築課

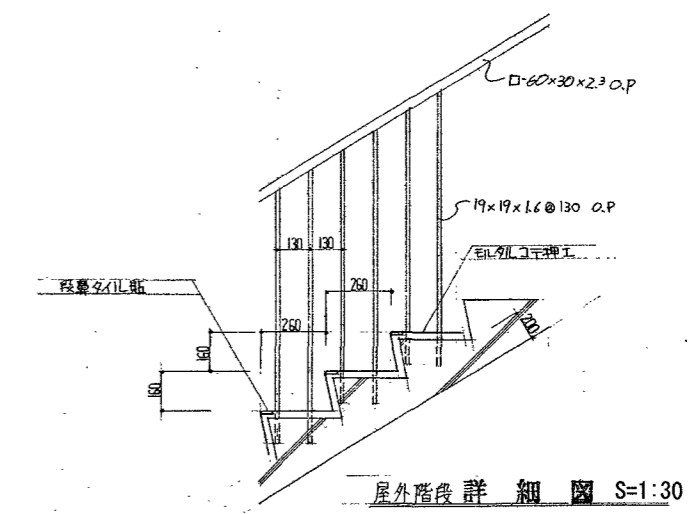
工事名	一宮小学校中舎・北舎外壁改修工事	係長	澤田	課長補佐	津口	課長	松本	図面番号	A-16
図面名	北舎矩計図 西昇降所棟矩計図 部分詳細図	縮尺	図示	作図	令和 8年 4月 日				



北舎北側屋外階段断面図 S=1:60



給食室断面図 S=1:60



屋外階段詳細図 S=1:30

外部仕上表		改修前		改修後	
記号	改修前	改修後	記号	改修前	改修後
①	根廻り: エルカ刷毛引き	水洗い + 劣化改修	⑧	小庇・梁上 防水エルカ塗り	水洗い + 劣化改修
②	外壁・柱・梁: エルカ刷毛引き下地 7カリ刷毛吹付	水洗い + 劣化改修 + 複層塗材E吹付	⑨	小庇 防水エルカ塗り	水洗い + 劣化改修 + ʼリマセメントʼ-ス塗り + 塗膜防水
③	外壁: 磁器質三丁掛タイル張り	水洗い + 劣化改修	⑩	パレット 防水エルカ塗り	先端部切断 + ʼリマセメントʼ-ス塗り(側面のみ) + 塗膜防水の上 高日反射率塗料塗り
④	軒天: コンクリート型枠打放し ジョイント目地棒 15mm	水洗い + 劣化改修	⑪	壁樋 VP管100φ VP塗り(ステンレス支持金物)	撤去 + カラーVP φ100新設
⑤	欠番		⑫	手すり スチール OP塗り	下地調整の上 SOP塗り
⑥	欠番		⑬	手洗い エザイタイル張り	水洗い
⑦	底下: コンクリート打放下地 7カリ刷毛吹付	水洗い + 劣化改修 + 外装薄塗材E吹付	⑭	シーリング	打替え 15×10 (スリット 25×10)

※ 劣化改修する部分は、施工数量調査を行うこと。  
 ※ 外壁面既存タイル廻りシーリング MS-2(15×10)二重水切り共、撤去・新設とする。

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
一宮小学校中舎・北舎外壁改修工事	橋本	大木	松本		A-17
図面名	縮尺				図示
給食室断面図 北舎北側屋外階段断面図 屋外階段詳細図	縮尺 図示				作図 令和 8年 4月 日

記号	数量	AD 1				AD 2				AD 3				AD 2			
		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
形状																	
寸法																	
見込																	
仕上																	
塗装																	
硝子		線入トメイガラス@6.8%				左				左				左			
金物		附属金物一式、707ロッキング・フランス落し下組、シンダー本締錠付、ステンレスバーハンドル270-600 両面				左				左				左			
備考		PIL=縦線 60x25															

記号	数量	AD 4				AD 5				AD 6				AD 1			
		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
形状																	
寸法																	
見込																	
仕上																	
塗装																	
硝子		線入トメイガラス@6.8%				左				左				左			
金物		附属金物一式、707ロッキング・フランス落し下組、シンダー本締錠付、ステンレスバーハンドル470 両面、PIL=縦線				左				左				左			
備考		PIL=縦線 60x25				PIL=縦線 30x25				PIL=縦線 30x25				PIL=縦線 30x25			

記号	数量	AD 7				AD 8				AD 9				AD 10				AD 2			
		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
形状																					
寸法																					
見込																					
仕上																					
塗装																					
硝子		トメイガラス@3%				左				左				左				左			
金物		附属金物一式、ロック錠付、フランス落し下組、ステンレス下枠				左				左				左				左			
備考		PIL=縦線 30x25				PIL=縦線 30x25				PIL=縦線 30x25				PIL=縦線 30x25				PIL=縦線 30x25			

参考図



記号	数量	AD	図面	数量	AD	図面	数量	AD	図面	数量	AD	図面		
AD-25	1	AD-26	1	AD-27	2	AD-28	1	AD-29	4	AD-30	4	AS-1, AS-1', AS-2, AS-3		
形状 寸法 見込														
仕上 塗装 硝子 金物 備考	铝合金④4%フッ素 O.P. 型板ガラス④4% 附属金物一式 ステンレス下枠 シリコン差込栓銀(引込ハブ) 1ヶ、ステンレス角底引キ4ヶ		全 左 全 左 窓 錠、ドアロック		铝合金④4%フッ素 O.P. 全 左 (ランズトームガラス③3%) 全 左 シリコン差込栓銀 1ヶ、ステンレス角底引キ4ヶ		トームガラス③3% 全 左		铝合金④4%フッ素 O.P. 型板ガラス④4% 全 左 ロック錠 1ヶ		铝合金④4%フッ素 O.P. 全 左 (ランズトームガラス③3%) 全 左 シリコン差込栓銀 2ヶ、ステンレス角底引キ8ヶ		トームガラス③3% 全 左	
AD-29	4	AD-30	4	AS-1	2	AS-1'	3	AS-2	2	AS-3	2	AS-3'	4	
トームガラス③3%	铝合金④4%フッ素 O.P. 全 左 (ランズトームガラス③3%) 全 左 シリコン差込栓銀 2ヶ、ステンレス角底引キ8ヶ		铝合金④4%フッ素 O.P. 全 左 (ランズトームガラス③3%) 全 左 シリコン差込栓銀 2ヶ、ステンレス角底引キ8ヶ		铝合金④4%フッ素 O.P. 全 左 (ランズトームガラス③3%) 全 左 シリコン差込栓銀 2ヶ、ステンレス角底引キ8ヶ		トームガラス③3% 全 左		铝合金④4%フッ素 O.P. 型板ガラス④4% 全 左 ロック錠 1ヶ		铝合金④4%フッ素 O.P. 全 左 (ランズトームガラス③3%) 全 左 シリコン差込栓銀 2ヶ、ステンレス角底引キ8ヶ		トームガラス③3% 全 左	
AS-2	2	AS-3	3	AS-3'	3	AS-3'	4	AS-3	2	AS-3'	4	AS-3	2	
铝合金④4%フッ素 O.P. 型板ガラス④4% (ランズトームガラス③3%) 附属金物一式 ステンレス下枠 シリコン差込栓銀 2ヶ、ステンレス角底引キ8ヶ	铝合金④4%フッ素 O.P. 全 左 (ランズトームガラス③3%) 全 左 シリコン差込栓銀 2ヶ、ステンレス角底引キ8ヶ		铝合金④4%フッ素 O.P. 全 左 (ランズトームガラス③3%) 全 左 シリコン差込栓銀 2ヶ、ステンレス角底引キ8ヶ		铝合金④4%フッ素 O.P. 全 左 (ランズトームガラス③3%) 全 左 シリコン差込栓銀 2ヶ、ステンレス角底引キ8ヶ		トームガラス③3% 全 左		铝合金④4%フッ素 O.P. 型板ガラス④4% 全 左 ロック錠 1ヶ		铝合金④4%フッ素 O.P. 全 左 (ランズトームガラス③3%) 全 左 シリコン差込栓銀 2ヶ、ステンレス角底引キ8ヶ		トームガラス③3% 全 左	

参考図



記号	数量	AW 15				AW 16				AW 17				AW 18			
		数	種	計	計	数	種	計	計	数	種	計	計	数	種	計	計
形状																	
寸法		3270 x 1200				1200 x 900				1600 x 900				1800 x 400			
見込																	
仕上		トヨタガラス ③3%				全 左				緑入トヨタガラス ③6.8%				トヨタガラス ③3%			
塗装		附属金物一式				全 左				全 左				全 左			
硝子		附属金物一式				全 左				全 左				全 左			
金物		附属金物一式				全 左				全 左				全 左			
備考		附属金物一式				全 左				全 左				全 左			
		AW 19				AW 20				AW 21				AW 22			
		9670 x 1200				960 x 600				1000 x 600				1800 x 1300			
		トヨタガラス ③3%				型板ガラス ④4%				全 左				トヨタガラス ③3%			
		附属金物一式				全 左				全 左				全 左			
		アルミ銀アチ、ステンレスネット貼アミ戸(可動式)				アルミ銀アチ、ステンレスネット貼アミ戸(可動式)				全 左				アルミ銀アチ、ステンレスネット貼アミ戸(可動式)			
		AW 23				AW 24				AW 25				AW 26			
		5970 x 1200				1300 x 1350				1800 x 1100				3670 x 1200			
		トヨタガラス ③3%				全 左				全 左				トヨタガラス ③3%			
		附属金物一式				全 左				全 左				全 左			
		アルミ銀アチ、ステンレスネット貼アミ戸(可動式)				アルミ銀アチ、ステンレスネット貼アミ戸(可動式)				全 左				アルミ銀アチ、ステンレスネット貼アミ戸(可動式)			

参考図



配号	AW					AW					AW					AW									
	数量	38	1	1	計	39	1	1	計	40	1	1	計	41	5	8	計								
形状 寸法																									
仕上 塗料 硝子 金物 備考	トメイガラス ③3% 附属金物一式					全左					全左					全左									
配号	AW					AW					AW					AW									
	2	2	計	42	43	8	8	計	44	44	AW-44 2 AW-44 1	2	2	計	45	1	1	計							
形状 寸法																									
仕上 塗料 硝子 金物 備考	トメイガラス ③3% 附属金物一式					全左					全左					全左									
配号	AG					AG					AG					AG									
	1	3	3	計	2	4	4	計	3	2	2	計	4	2	2	計	5	1	1	計					
形状 寸法																									
仕上 塗料 硝子 金物 備考	附属金物一式 PILニ類ブチ、ステンレスネット貼 アミP					全左					ラフイヤー ③6.8% 全左					全左									

参考図

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	一宮小学校中舎・北舎外壁改修工事	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	建具リスト (7) (参考図)	縮尺	1:60	作図	令和 8年 4月 日	A-24